

令和4年度 愛荘町人権に関する町民意識調査 報告書

概要版

目次

1	調査の概要	1
2	町民意識調査の結果	2
3	小学生・中学生調査の結果	12
4	小学生・中学生の保護者調査の結果	16
5	外国籍住民調査の結果	20

愛 荘 町
愛 荘 町 教 育 委 員 会
愛 荘 町 人 権 教 育 推 進 協 議 会

1 調査の概要

調査目的

本町における人権施策推進のための人権教育・人権啓発活動を行うにあたり、町民の人権意識の状況を把握し、今後の施策および啓発を推進するための基礎資料を得るために実施しました。

調査対象 調査方法

調査対象	調査方法
町民 3,000人	郵送配布、郵送・WEB回収 ※ポルトガル語訳版、英語訳版を用意し、要請のあった対象者に配布しました。
小学6年生の児童 258人	学校配布のタブレット端末による回答
中学3年生の生徒 227人	
上記児童・生徒の保護者 485人	学校経由での配布、回収
外国籍住民 98人	学校経由での配布、回収 ※町内の小学校・中学校に通う外国籍児童・生徒の保護者に配布し、父親・母親の両方またはいずれかが回答 ※日本語版とポルトガル語版の両方を配布

調査期間	令和4年11月25日(金)～12月16日(金)
------	-------------------------

回収結果

区分	配布数	有効回答数	有効回答率
町民	3,000人	956人 (内)郵送回答 793人 WEB回答 163人	31.9%
小学6年生の児童	258人	219人	84.9%
中学3年生の生徒	227人	213人	93.8%
上記児童・生徒の保護者	485人	354人	73.0%
外国籍住民	98人	37人	37.8%

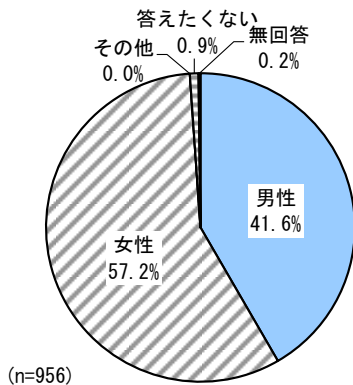
留意事項

- ・ 図表中のn (Number of case) は、設問に対する回答者数のことを示しています。
- ・ 回答比率 (%) は回答者数 (n) を 100% として算出し、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。四捨五入の結果、内訳の合計が計に一致しないことがあります。また、一人の対象者に複数の回答を求める設問では、回答比率 (%) の計は 100.0% を超えます。
- ・ 選択する回答数に「3つまで」と制限を設けている設問で、制限数を超えた回答があってもすべて有効回答としています。
- ・ 本文中の質問文および選択肢の表現は、趣旨が変わらない程度に簡略化している場合があります。
- ・ 本調査結果において、「平成29年度」と記載のある図は、平成29年度に実施した「町民意識調査」(前回調査)の回答結果からの引用です。

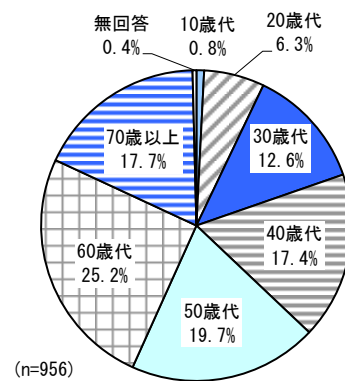
2 町民意識調査の結果

1 回答者の属性

■ 回答者の性別

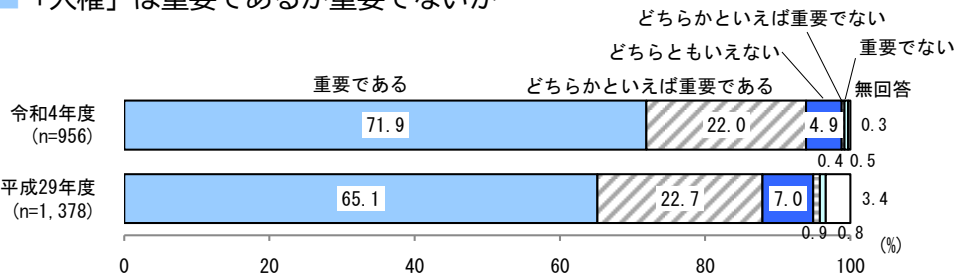


■ 回答者の年齢構成



2 町民の人権全般に関する意識と実態

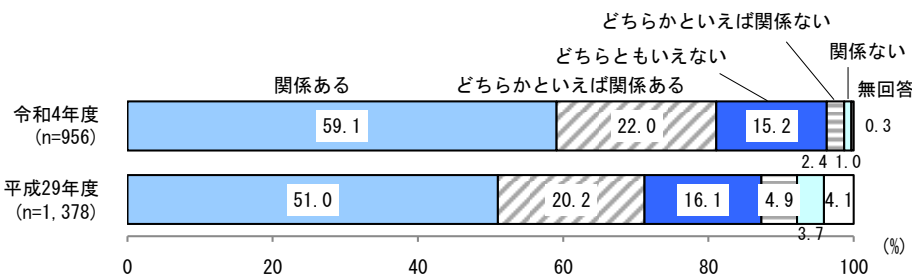
■ 「人権」は重要であるか重要でないか



「人権」は『重要である』が93.9%*を占め、前回調査の結果から6.1ポイント上昇しています。

*「重要である」と「どちらかといえば重要である」の各割合の合計

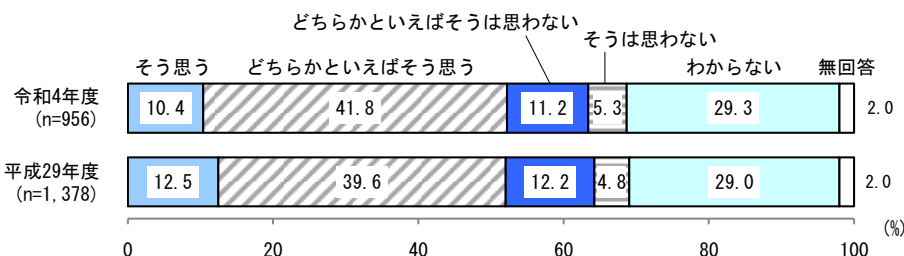
■ 「人権」は自分に関係があるかないか



「人権」は自分にとって『関係ある』が81.1%*を占め、前回調査の結果から9.9ポイント上昇しています。

*「関係ある」と「どちらかといえば関係ある」の各割合の合計

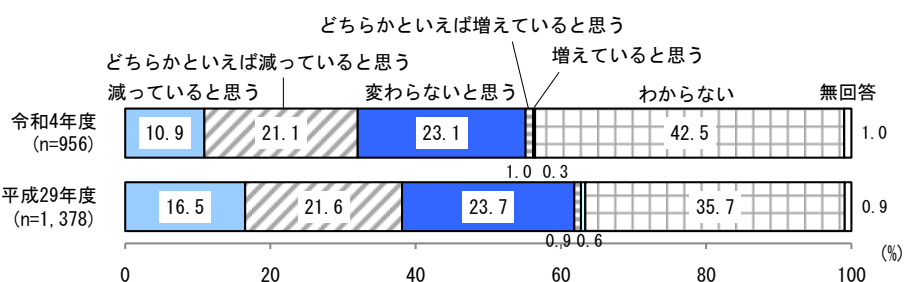
■ 愛荘町は人権が尊重される社会になっていると思いますか



「愛荘町は人権が尊重される社会になっている」が52.2%*となっており、前回調査からほぼ変化はありません。

*「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の各割合の合計

■ 愛荘町における差別や人権侵害は、おおむね5年前に比べてどのようになっていると思いますか

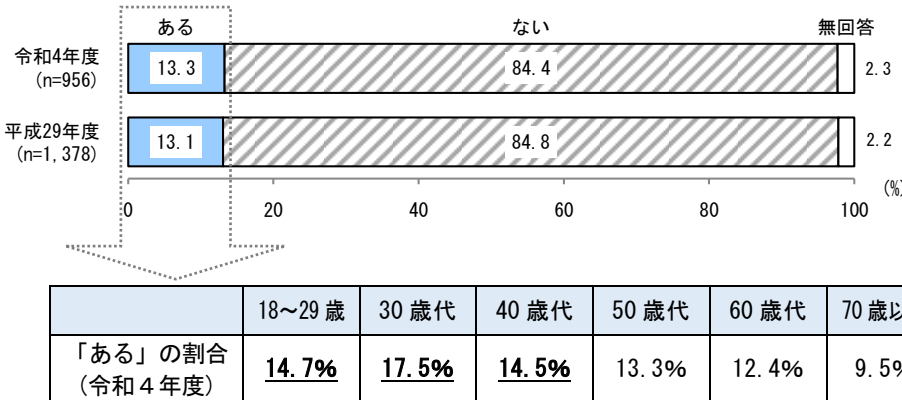


『減っていると思う』が32.0%*で、前回調査の結果から6.1ポイント減少し、かわって「わからない」の割合が42.5%に最も多くなっています。

*「減っていると思う」と「どちらかといえば減っていると思う」の各割合の合計

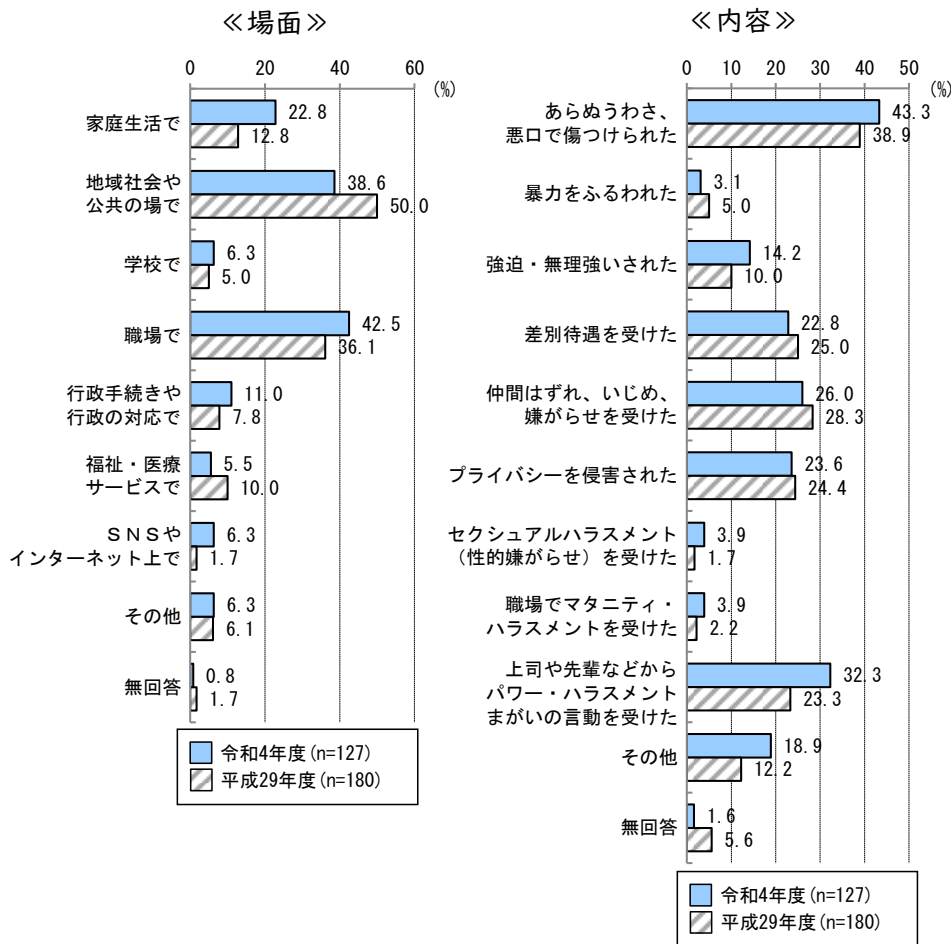
3 町民の人権侵害を受けた経験と対応

■ここ5年以内で差別や人権侵害を受けたことがありますか



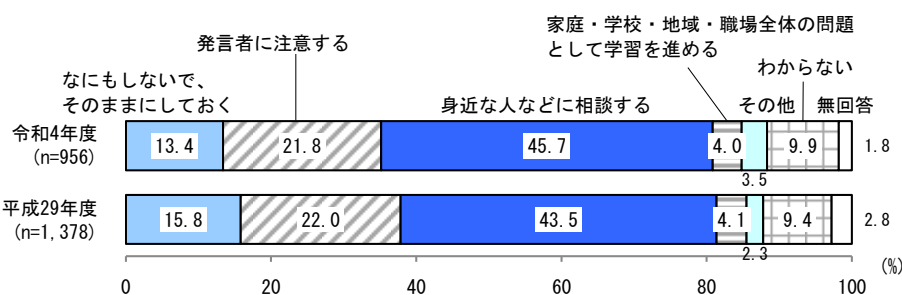
- 人権侵害を受けた経験が「ある」は13.3%に対し、「ない」は84.4%で、経験したことがある割合は前回調査の結果から変化はありません。
- 人権侵害を受けたことがある割合は、30歳代が17.5%と最も高く、次いで18~29歳が14.7%、40歳代が14.5%となっています。

■差別や人権侵害を受けたのはどのような生活場面でしたか。またどのような内容でしたか (いくつでも選択可)



- 人権侵害を受けた場面で最も多いものは、「職場」(42.5%)で、次いで「地域社会や公共の場」(38.6%)、「家庭生活で」(22.8%)となっています。「家庭生活」の割合は、前回調査の結果から10.0ポイント上昇しています。
- 人権侵害の内容は、「あらぬうわさ、悪口で傷つけられた」(43.3%)が最も多く、次いで「上司や先輩などからパワー・ハラスメントまがいの言動を受けた」(32.3%)、「仲間はずれ、いじめ、嫌がらせを受けた」(26.0%)です。「上司や先輩などからパワー・ハラスメントまがいの言動を受けた」の割合は、前回調査の結果から9.0ポイント上昇しています。

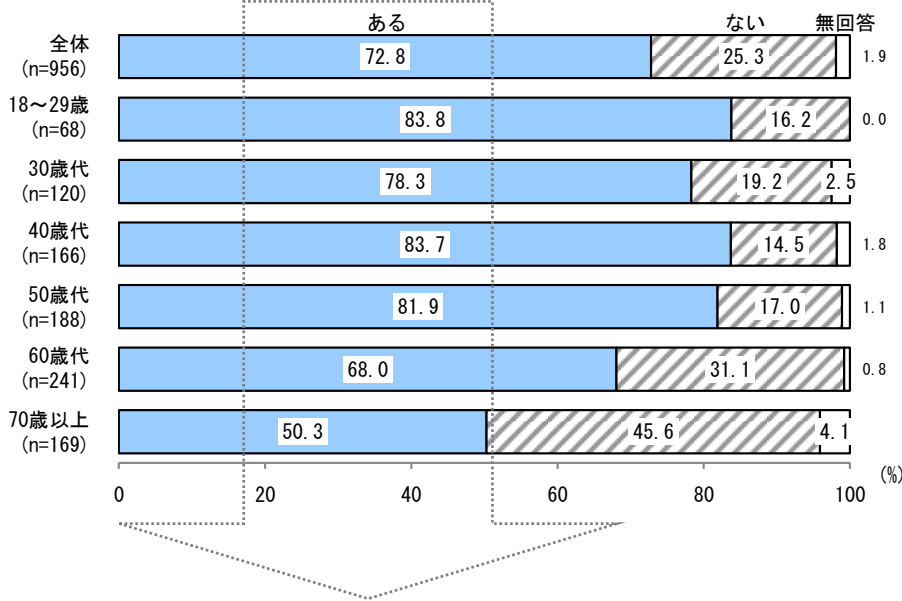
■人権が傷つけられるような発言があったとき、あなたはどうされますか



「身近な人などに相談する」(45.7%)が最も多く、次いで「発言者に注意する」(21.8%)となっています。一方、約10人に1人は、「なにもしないで、そのままにしておく」(13.4%)と回答しています。

4 町民の人権に関する学びの状況①

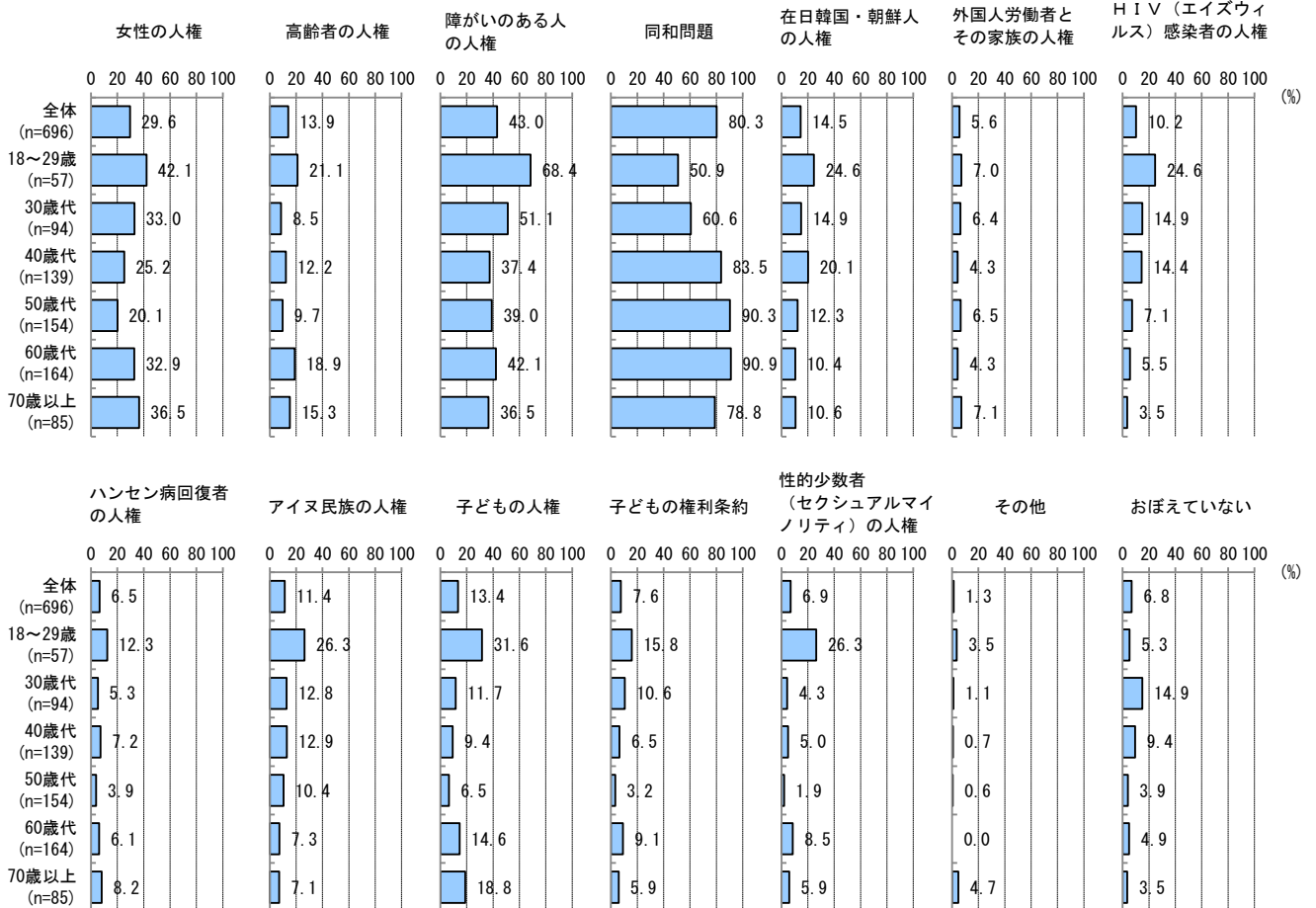
■これまで学校で差別や人権に関する教育を受けたことがありますか



・学校で差別や人権に関する教育を受けた経験が「ある」が72.8%に対し、「ない」は25.3%となっています。

・年代別では、学校で人権教育を受けたことが「ある」割合は18~29歳が83.8%と最も高くなっています。これに対し、70歳以上は「ない」が45.6%と他の年代に比べ高くなっています。

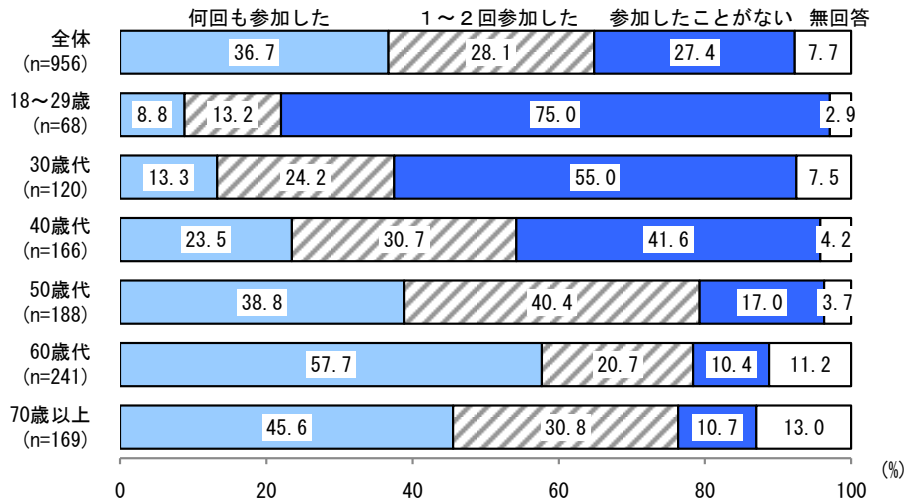
■どのような内容を教わりましたか (いくつでも選択可)



年代別では、「同和問題」は40~60歳代の割合が高くなっています。また、18~29歳では、「子どもの人権」「性的少数者(セクシュアルマイノリティ)の人権」など、他の年代に比べ割合の高い内容が多く、多様な人権について学んでいる様子が見えます。

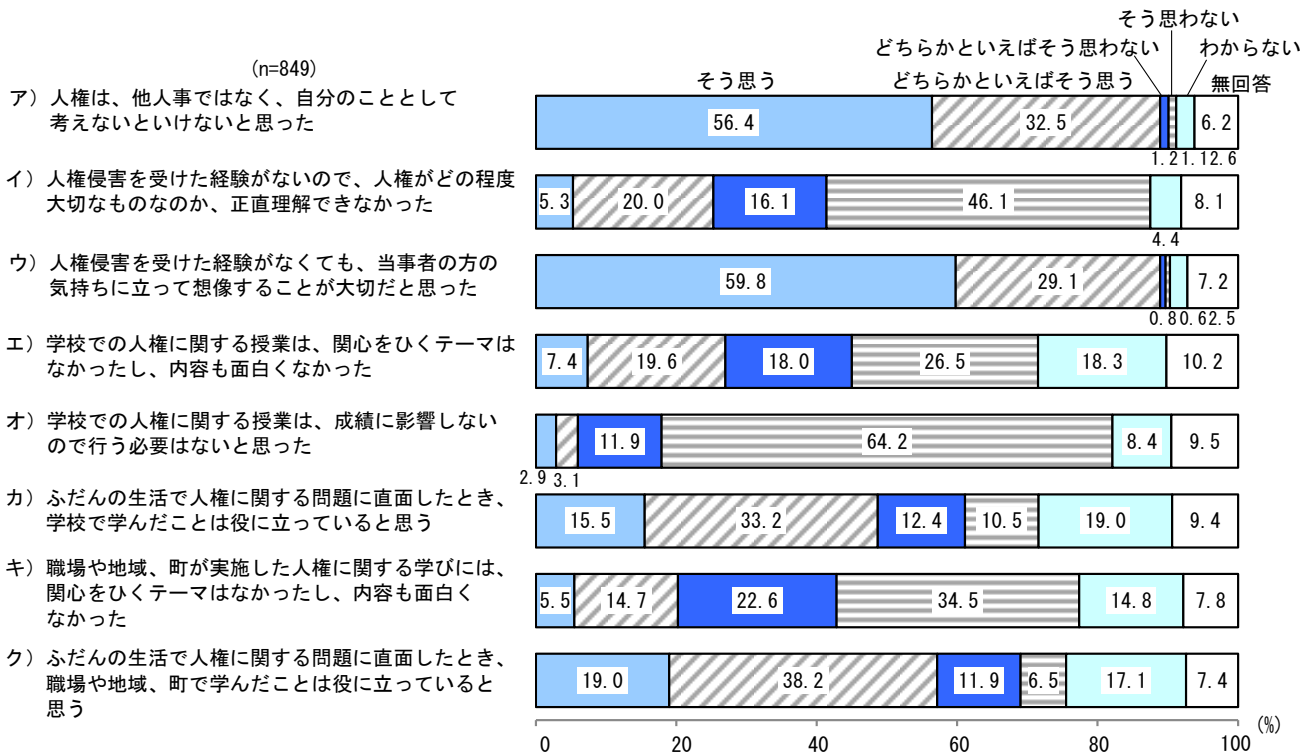
4 町民の人権に関する学びの状況②

■ これまでに学校を除く職場、地域、町で行われた差別や人権に関する講演会や研修会等にどの程度参加しましたか



- ・ 学校以外での人権に関する講演会・研修会等に「何回も参加した」が36.7%、「1～2回参加した」が28.1%で、両者を合わせた参加経験者の割合は64.8%となっています。
- ・ 年代別では、参加経験者の割合は、加齢とともに上昇し、40歳以降では過半数を占めています。

■ 学校での人権教育を受けて、または職場、地域、町で行われた差別や人権に関する講演会や研修会等に参加して、どのように感じていますか



学校教育や社会教育の場での人権教育を受けたことに対する評価・意見で、『そう思う』の割合が高いものは、“ア) 人権は他人事ではなく、自分のこととして考えないといけないと思った” (88.9%*1) と “ウ) 人権侵害を受けた経験がなくても、当事者の方の気持ちに立って想像することが大切だと思った” (88.9%*1) です。逆に、『そう思わない』の割合が最も高いものは、“オ) 学校での人権に関する授業は、成績に影響しないので行う必要はないと思った” (76.1%*2) で、次いで“イ) 人権侵害を受けた経験がないので、人権がどの程度大切なものか、正直理解できなかった” (62.2%*2) となっています。

“カ) ふだんの生活で人権に関する問題に直面したとき、学校で学んだことは役に立っていると思う”については、『そう思う』の割合が48.7%と5割近くを占め、「わからない」(19.0%)が他に比べて高くなっています。

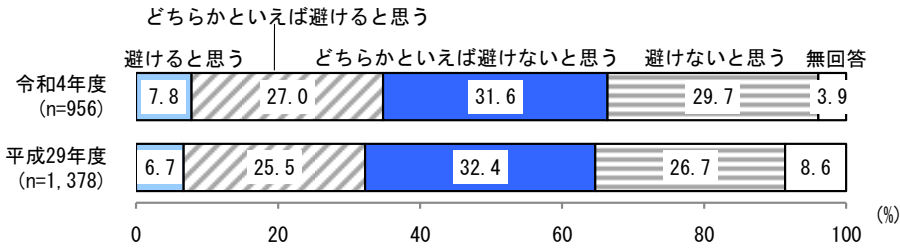
*1 「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の各割合の合計

*2 「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の各割合の合計

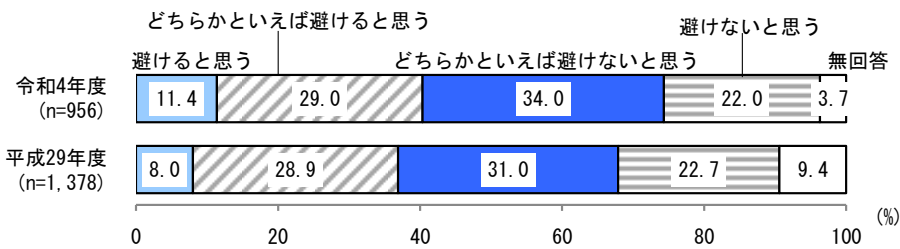
5 町民のさまざまな人権問題に関する意識と実態①

■家を購入したりマンションを借りたりするなど、住宅を選ぶ際に、価格や立地条件などの希望があっても、次のような条件の物件の場合、避けると思いますか

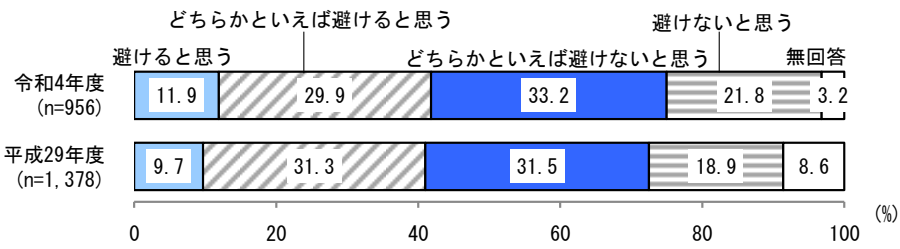
ア) 近くに精神科病院や障がい者施設がある



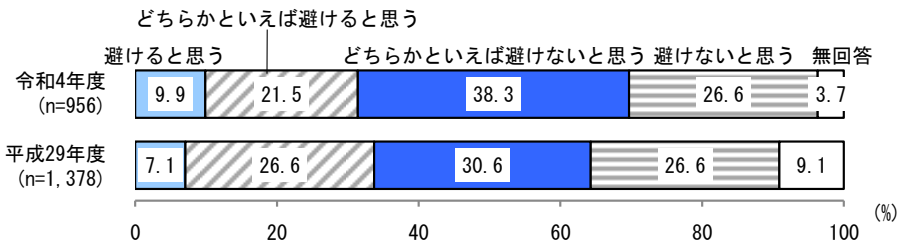
イ) 近隣に低所得者など、生活が困難な人が多く住んでいる



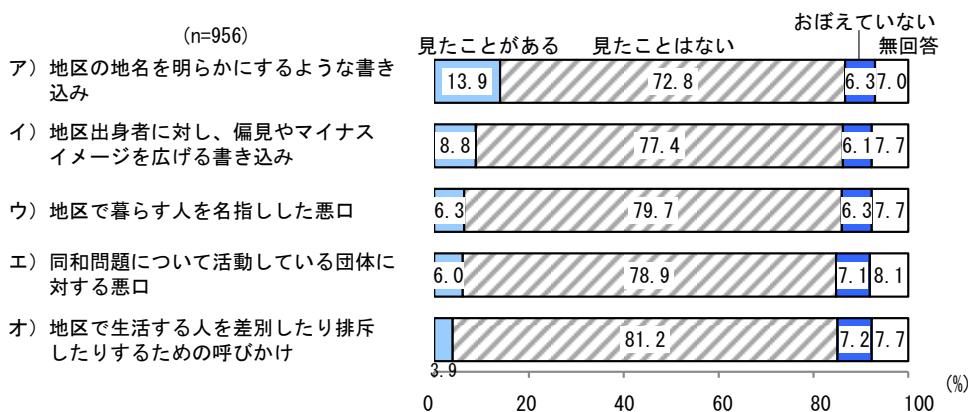
ウ) 近隣に外国人住民が多く住んでいる



エ) 近隣に同和地区がある



■インターネット上で、同和地区に関する書き込みを見たことはありますか



・ア)からエ)までのいずれの場合も、『避けないと思う*1』の割合が5割を超えています。一方、『避けると思う*2』の割合は、“イ) 近隣に低所得者など、生活が困難な人が多く住んでいる”(40.4%)、“ウ) 近隣に外国人住民が多く住んでいる”(41.8%)が他の項目に比べ高くなっています。

・前回調査の結果でも、いずれの項目も『避けないと思う』割合が高くなっています。

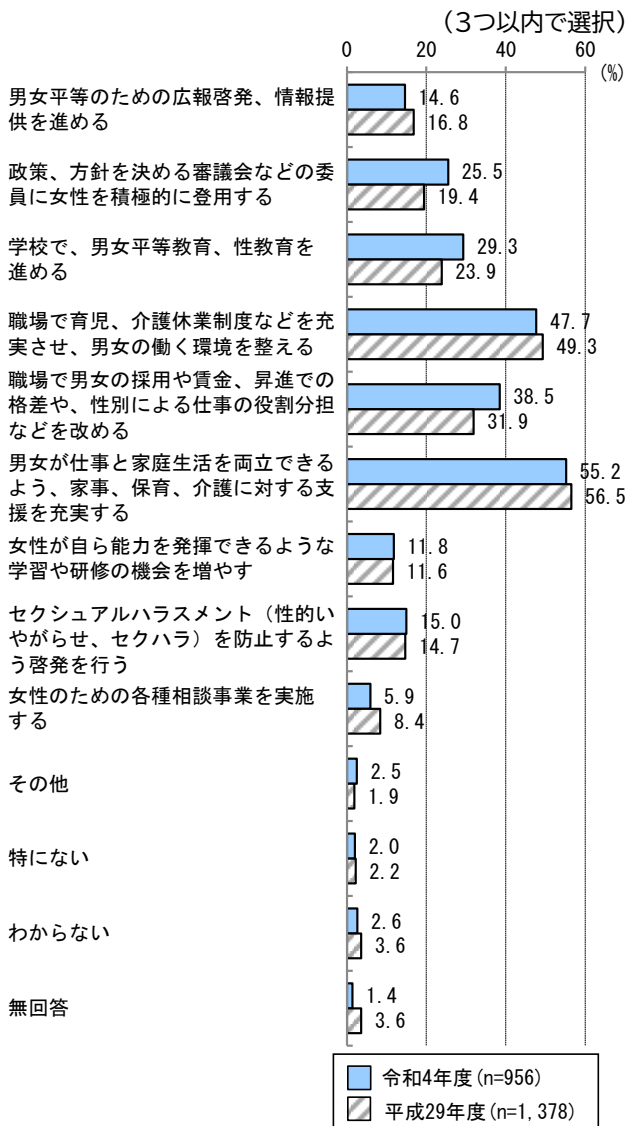
*1「避けないと思う」と「どちらかといえば避けないと思う」の各割合の合計

*2「避けると思う」と「どちらかといえば避けると思う」の各割合の合計

いずれも「見たことはない」が7割を超え最も多くなっています。一方、「見たことがある」と回答のあった書き込みで多いものは、“ア) 地区の地名を明らかにするような書き込み”(13.9%)です。

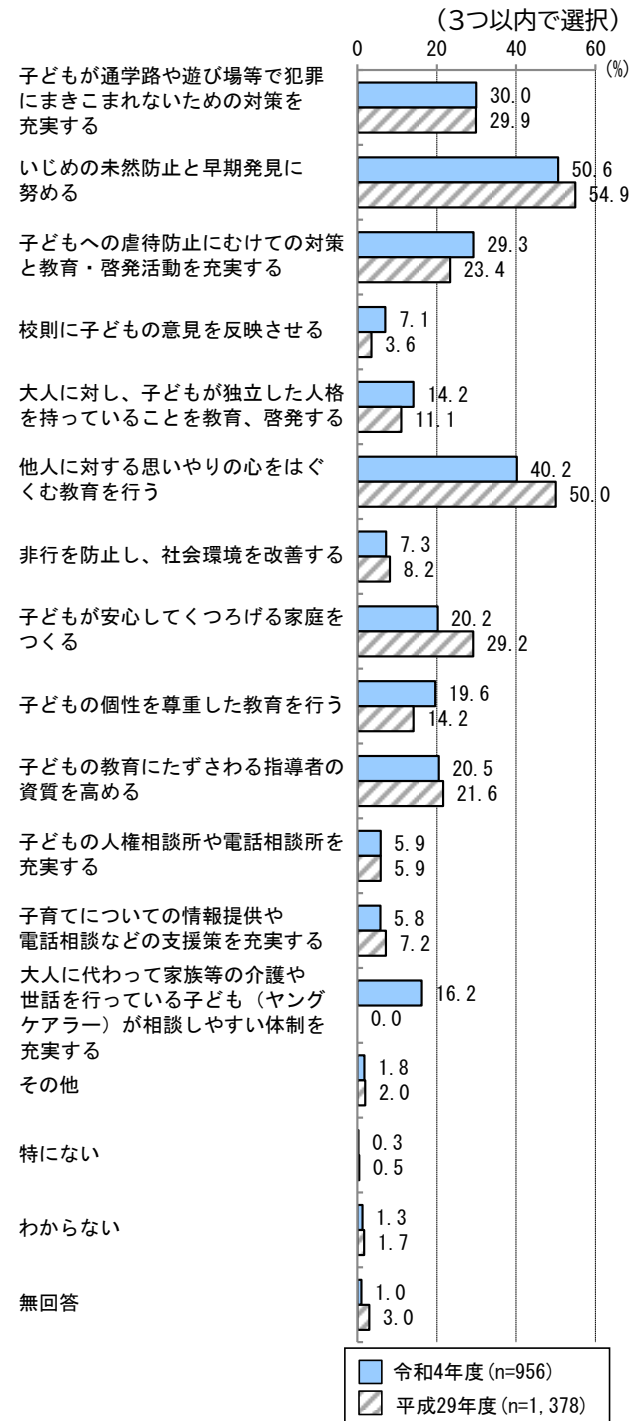
5 町民のさまざまな人権問題に関する意識と実態②

■【個別の人権問題】女性の人権が尊重されるためには、どのようなことが必要であると思いますか



「男女が仕事と家庭生活を両立できるよう、家事、保育、介護に対する支援を充実する」(55.2%)が最も多く、「政策、方針を決める審議会などの委員に女性を積極的に登用する」「学校で、男女平等教育、性教育を進める」「職場で男女の採用や賃金、昇進での格差や、性別による仕事の役割分担などを改める」の各割合が前回調査の結果から上昇しています。

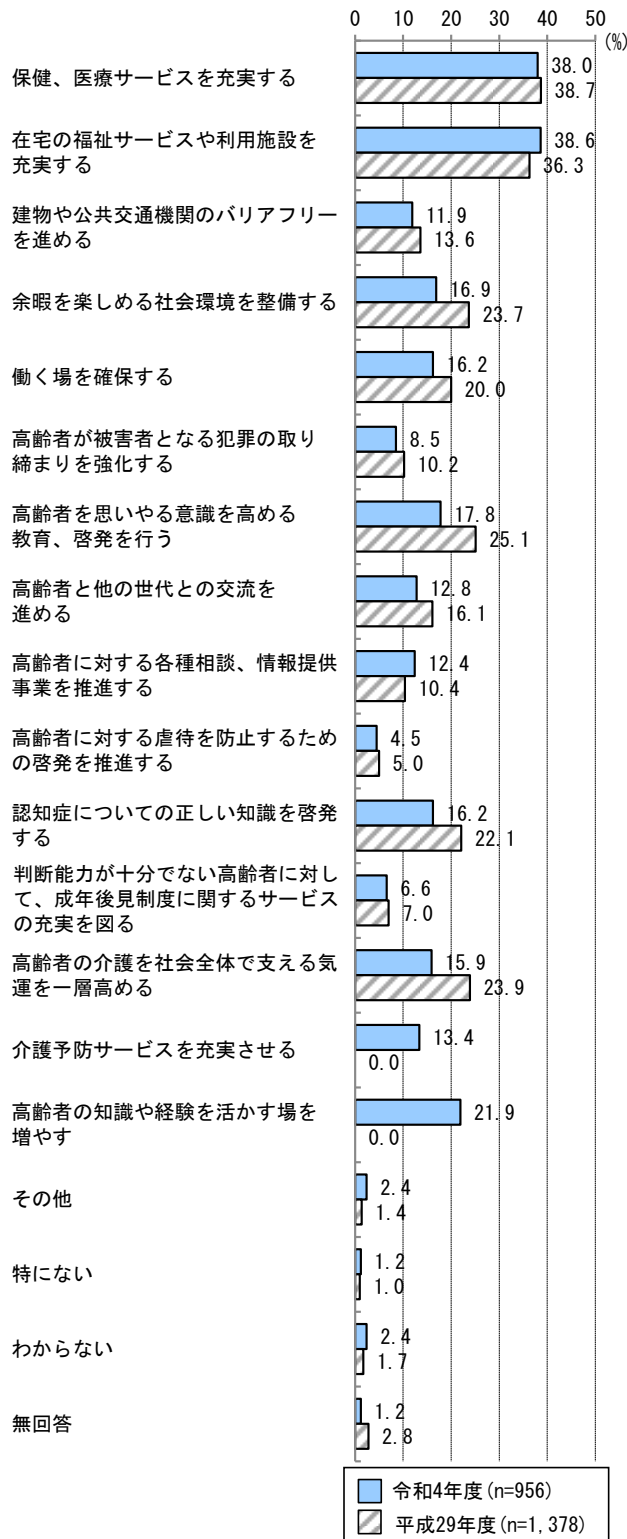
■【個別の人権問題】子どもの人権が尊重されるためには、どのようなことが必要であると思いますか



「いじめの未然防止と早期発見に努める」(50.6%)が最も多く、今回新規に設けた「大人に代わって家族等の介護や世話をしている子ども（ヤングケアラー）が相談しやすい体制を充実する」は16.2%となっています。前回調査の結果から、「子どもへの虐待防止にむけての対策と教育・啓発活動を充実する」「子どもの個性を尊重した教育を行う」の割合は上昇、「他人に対する思いやりの心をはぐくむ教育を行う」の割合は低下しています。

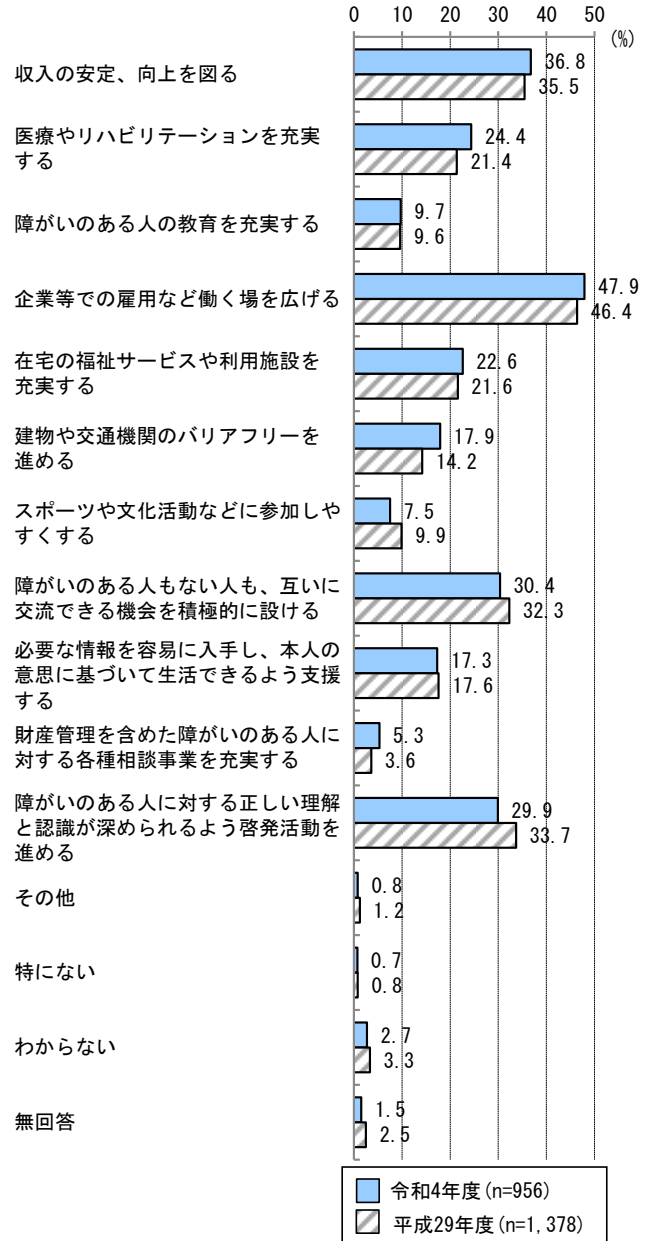
5 町民のさまざまな人権問題に関する意識と実態③

■【個別の人権問題】高齢者の人権が尊重されるためには、どのようなことが必要だと思いますか
(3つ以内で選択)



「在宅の福祉サービスや利用施設を充実する」(38.6%)が最も多く、「在宅の福祉サービスや利用施設を充実する」「高齢者に対する各種相談、情報提供事業を推進する」を除くすべての項目で、前回調査の結果から割合は低下しています。

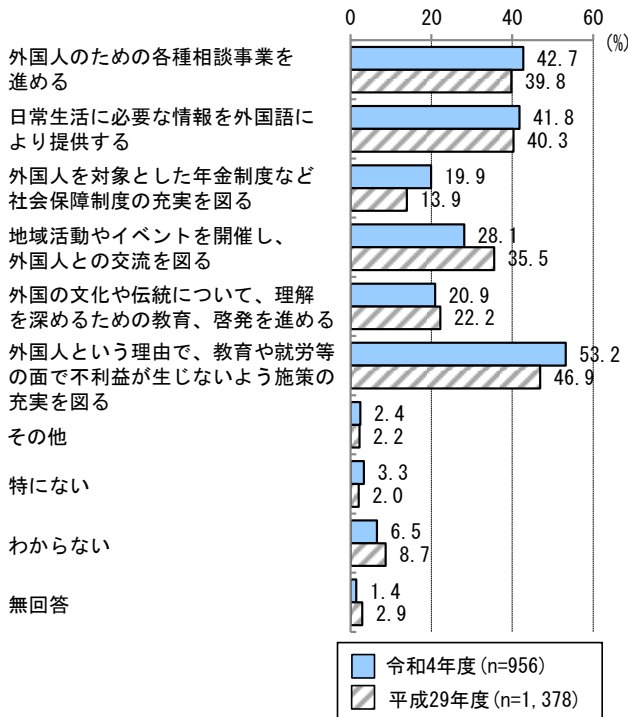
■【個別の人権問題】障がいのある人の人権が尊重されるためには、どのようなことが必要だと思いますか
(3つ以内で選択)



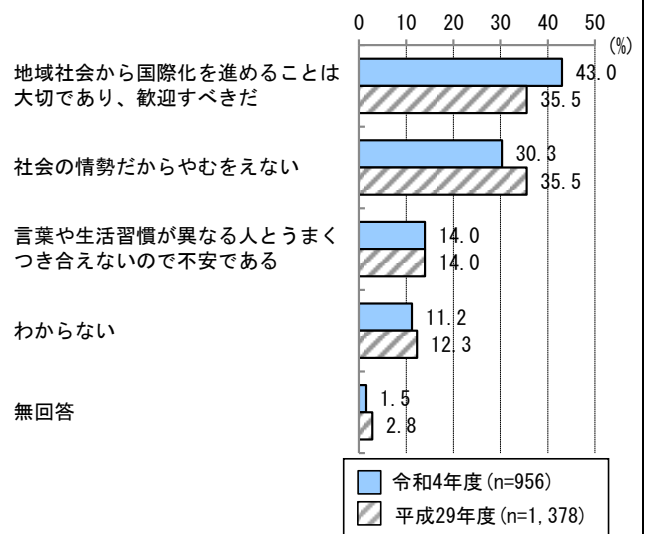
「企業等での雇用など働く場を広げる」(47.9%)が最も多く、前回調査の結果から、「建物や交通機関のバリアフリーを進める」の割合は上昇、「障がいのある人に対する正しい理解と認識が深められるよう啓発活動を進める」は低下しています。

5 町民のさまざまな人権問題に関する意識と実態④

■【個別の人権問題】日本に居住している外国人の人権が尊重されるためには、どのようなことが必要であると思いますか (3つ以内で選択)

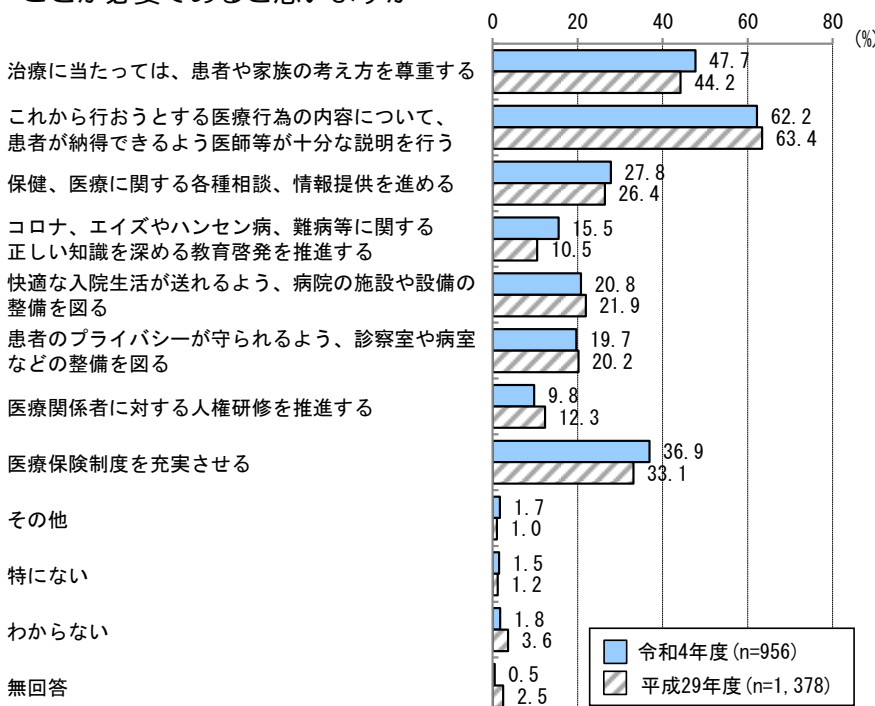


■【個別の人権問題】外国人が増加していることについて、あなたの思いに最も近いものを選んでください



- ・「外国人という理由で、教育や就労等の面で不利益が生じないよう施策の充実を図る」(53.2%)が最も多く、前回調査の結果から、「地域活動やイベントを開催し、外国人との交流を図る」の割合は低下、「外国人という理由で教育や就労等の面で不利益が生じないよう施策の充実を図る」「外国人を対象とした年金制度など社会保障制度の充実を図る」の割合が上昇しています。
- ・日本に居住している外国人の増加について、「地域社会から国際化を進めることは大切であり、歓迎すべきだ」(43.0%)という回答が最も多く、その割合は前回調査の結果から上昇しています。

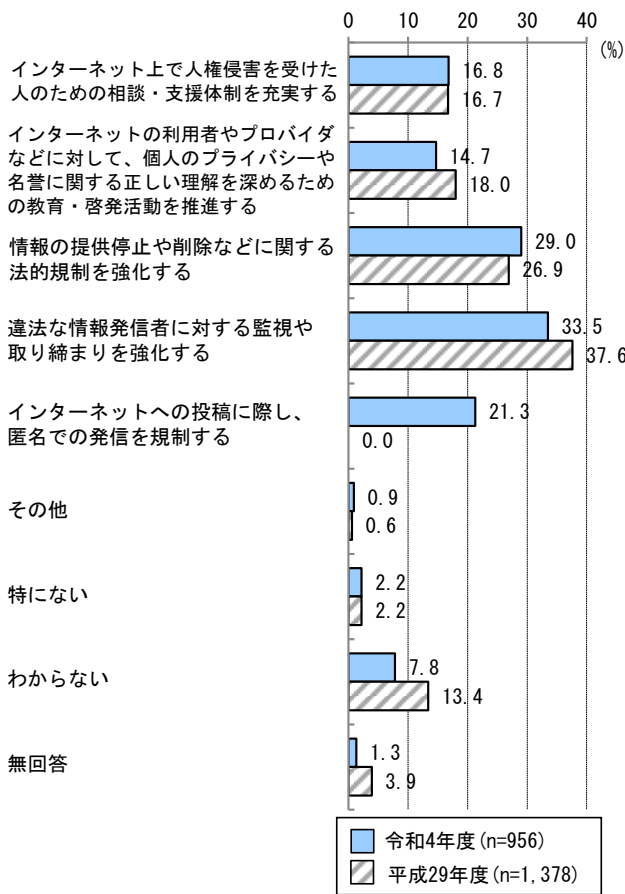
■【個別の人権問題】患者の人権が尊重されるためには、どのようなことが必要であると思いますか (3つ以内で選択)



「これから行おうとする医療行為の内容について、患者が納得できるよう医師等が十分な説明を行う」(62.2%)が最も多く、「治療に当たっては、患者や家族の考え方を尊重する」「医療保険制度を充実させる」「コロナ、エイズやハンセン病、難病等に関する正しい知識を深める教育啓発を推進する」の各割合は、前回調査の結果から上昇しています。

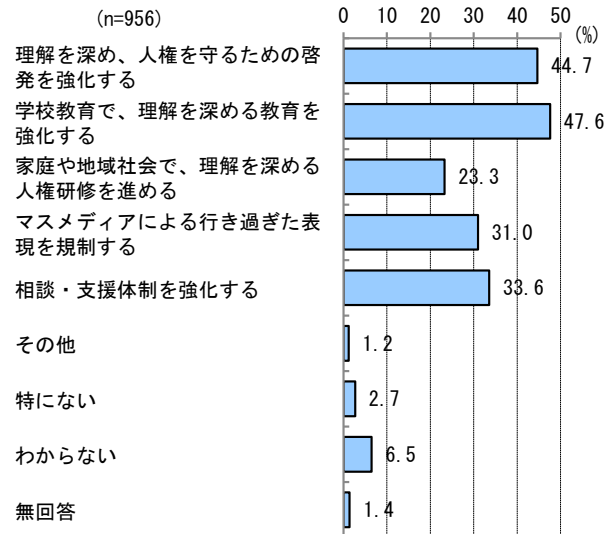
5 町民のさまざまな人権問題に関する意識と実態⑤

■【個別の人権問題】インターネット上の人権侵害を防ぐために、どのようなことが必要だと思いますか



「違法な情報発信者に対する監視や取り締まりを強化する」(33.5%)が最も多く、次いで「情報の提供停止や削除などに関する法的規制を強化する」(29.0%)、「インターネットへの投稿に際し、匿名での発信を規制する」(21.3%)となっています。

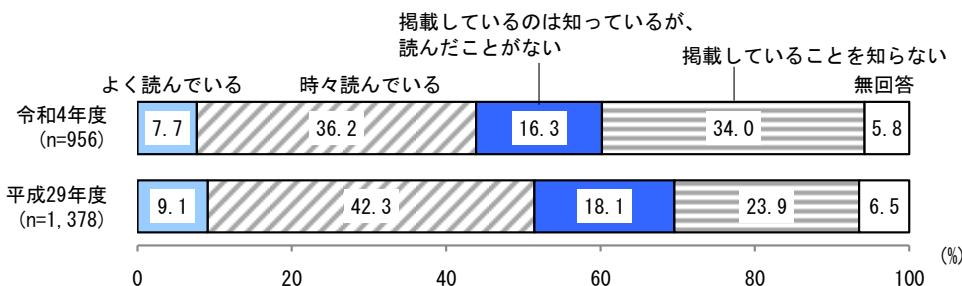
■【個別の人権問題】性についてさまざまな考え方や受け止め方をもつ人の人権が尊重されるためには、どのようなことが必要だと思いますか (3つ以内で選択)



「学校教育で、理解を深める教育を強化する」(47.6%)が最も多く、次いで「理解を深め、人権を守るための啓発を強化する」(44.7%)、「相談・支援体制を強化する」(33.6%)となっています。

6 町の人権に関する施策①

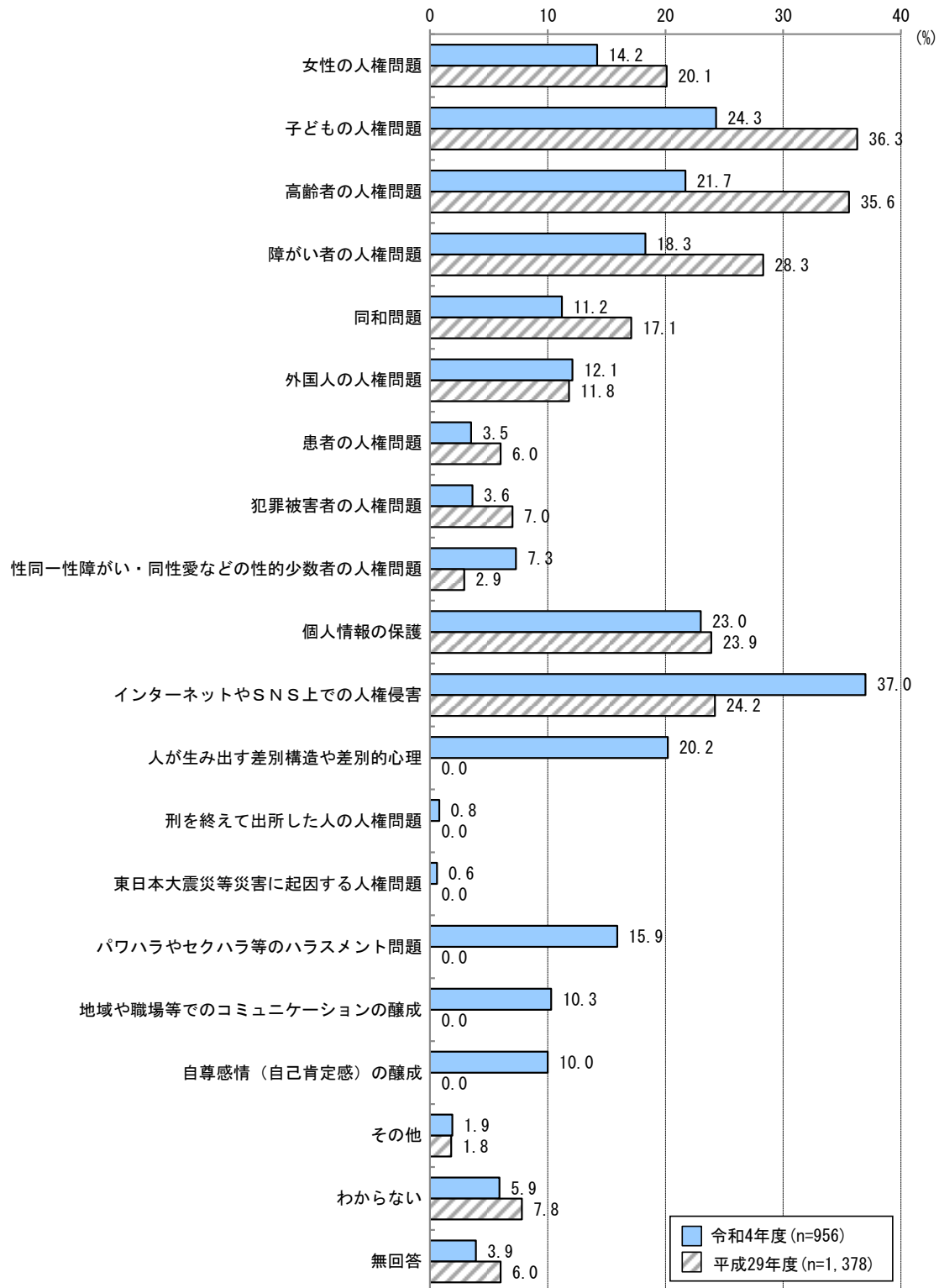
■人権問題の解決のための啓発活動として、毎月広報紙に「人推協だより ほっと・あい」を掲載していますが、最近1年ぐらゐの間どの程度読みましたか



「よく読んでいる」と「時々読んでいる」を合わせた『読んでいる』の割合が43.9%となっています。これに対し、「掲載していることを知らない」が34.0%、「掲載しているのは知っているが、読んだことがない」が16.3%で、前回調査の結果から、「掲載していることを知らない」の割合が10.1ポイント上昇しています。

6 町の人権に関する施策②

■さまざまな人権問題について、その解決のための啓発に取り組んでいきますが、今後、さらに重点的に取り組まなければならないこととは何であるとお考えですか（3つ以内で選択）



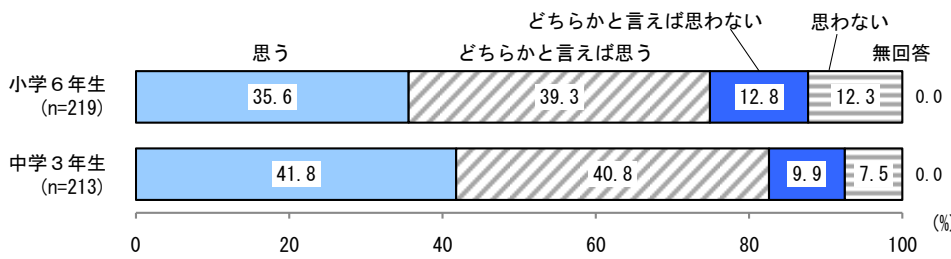
「インターネットやSNS上での人権侵害」(37.0%)が最も多く、次いで「子どもの人権問題」(24.3%)、「個人情報の保護」(23.0%)、「高齢者の人権問題」(21.7%)などとなっています。また、今回新規で設定した項目の中で「人が生み出す差別構造や差別的な心理」(20.2%)が5番目に多くなっています。

前回調査の結果から、「高齢者の人権問題」の割合が低下している一方で、「インターネットやSNS上での人権侵害」の割合が上昇しています。

3 小学生・中学生調査の結果

1 児童・生徒の自己肯定・有用感の状況

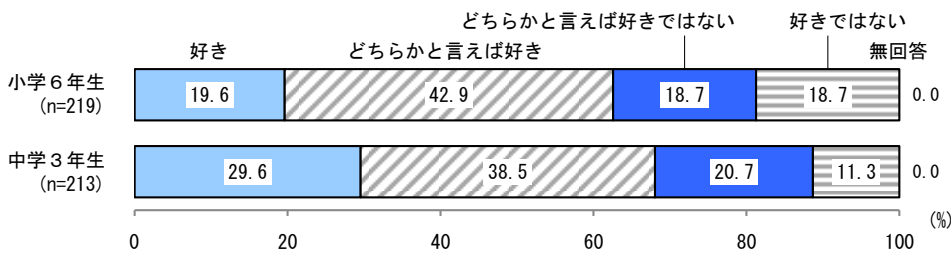
■ 自分によいところがあると思いますか



『自分によいところがあると思う』の割合は、小学生が74.9%*、中学生が82.6%*で、小学生の割合が低くなっています。

*「思う」と「どちらかと言えば思う」の各割合の合計

■ 自分のことが好きですか

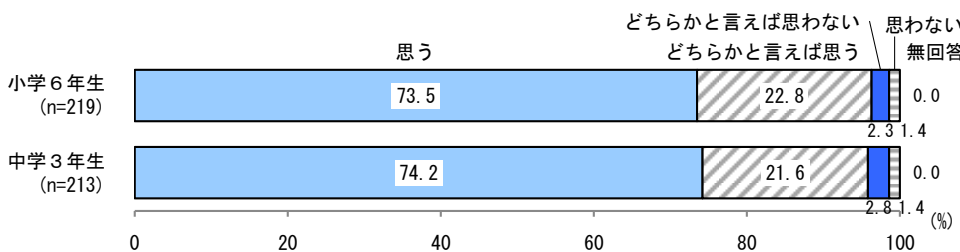


『自分のことが好き』の割合は、小学生が62.5%*、中学生が68.1%*となっています。一方、3割*2を超える小中学生が『自分のことが好きでない』と回答しています。

*1「好き」と「どちらかと言えば好き」の各割合の合計

*2「好きではない」と「どちらかと言えば好きではない」の各割合の合計

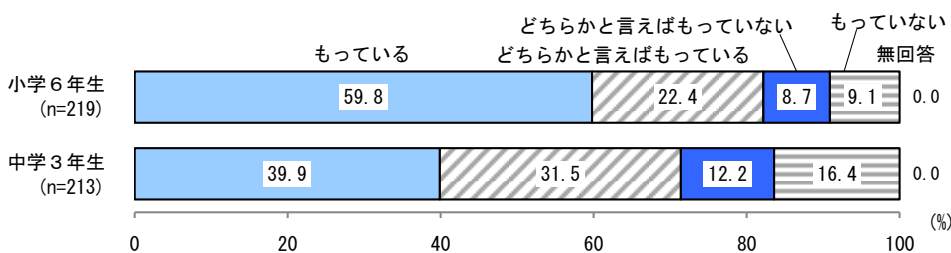
■ 人の役に立つ人間になりたいと思いますか



『人の役に立つ人間になりたいと思う』の割合は、小学生が96.3%*、中学生が95.8%*となっています。

*「思う」と「どちらかと言えば思う」の各割合の合計

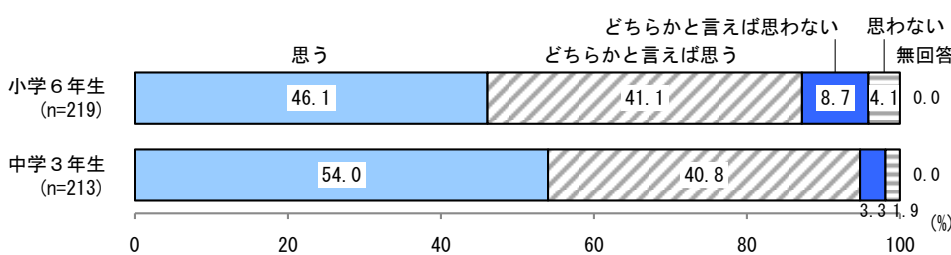
■ 将来の夢や目標をもっていますか



『将来の夢や目標をもっている』の割合は、小学生が82.2%*、中学生が71.4%*で中学生の割合が低くなっています。

*「もっている」と「どちらかと言えばもっている」の各割合の合計

■ 周りの人から自分が大切にされていると思いますか

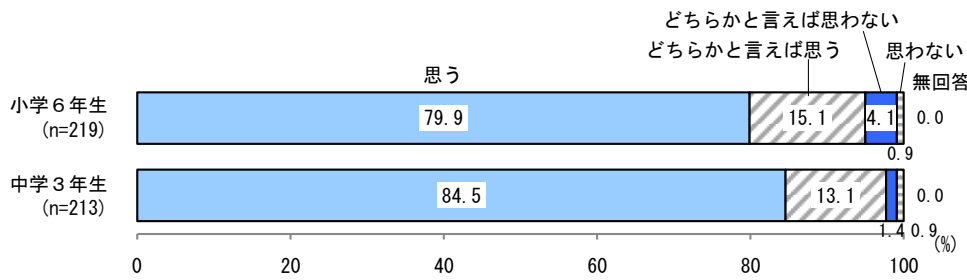


『周りの人から大切にされていると思う』の割合は、小学生が87.2%*、中学生が94.8%*で、小学生の割合がやや低くなっています。

*「思う」と「どちらかと言えば思う」の各割合の合計

2 いじめや差別に対する意識

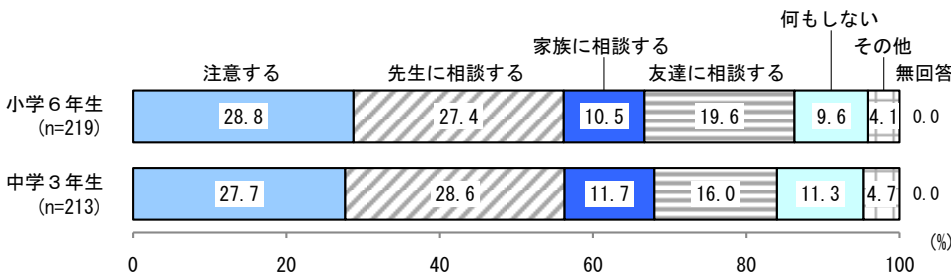
■ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



小中学生とも9割*を超える児童・生徒が『いけないことだと思う』と回答しています。

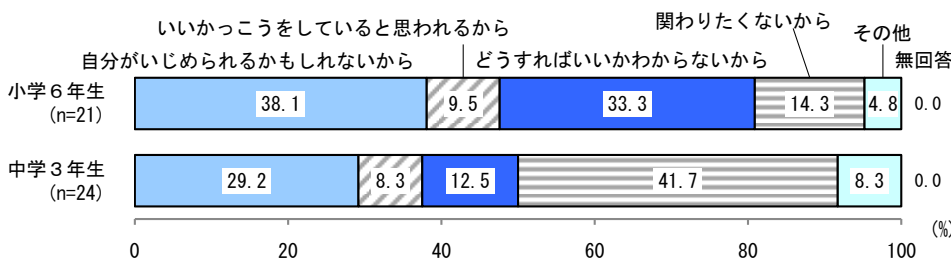
*「思う」と「どちらかと言えば思う」の各割合の合計

■ いじめや差別をしている場面を見た時、どんな行動をしますか



小中学生とも、「注意する」または「先生に相談する」が多くなっています。

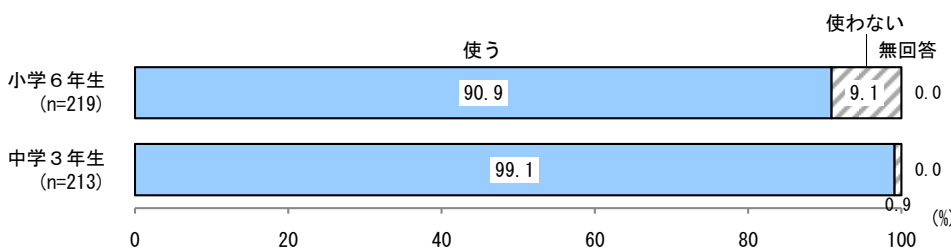
■ いじめや差別を目撃したときに何もしない理由



小学生は、「自分がいじめられるかもしれないから」(38.1%)が、中学生は、「関わりたくないから」(41.7%)がそれぞれ最も多くなっています。

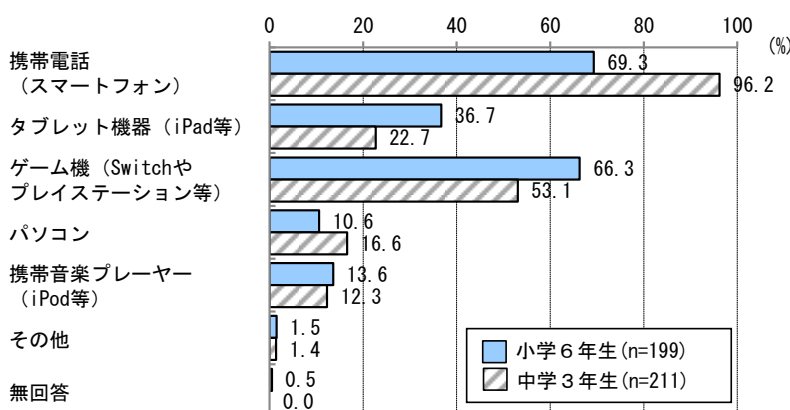
3 インターネットの使用状況①

■ 学校以外でインターネット（携帯電話のメール・LINE等を含む）を使いますか



小中学生とも9割の児童・生徒が学校以外でインターネットを使うと回答しています。

■ 何を使ってインターネットを利用しますか（いくつでも選択可）



・小中学生とも「携帯電話（スマートフォン）」が最も多く、中学生のほぼ全員が利用しています。「タブレット機器」や「ゲーム機」の割合は中学生に比べ小学生のほうが高くなっています。
・スマートフォンまたはタブレットを利用する小学生の71.0%、中学生の95.2%は「自分専用」と回答しています。

3 インターネットの使用状況②

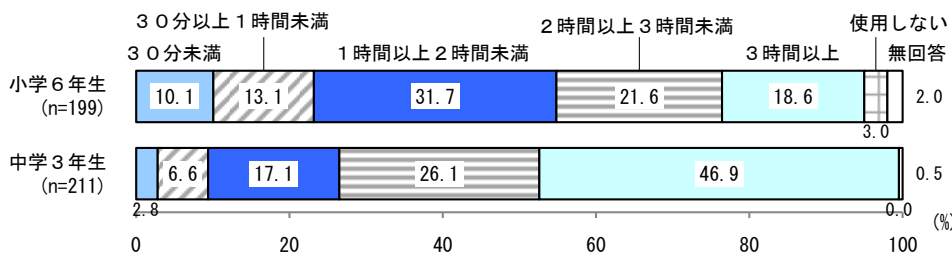
■ インターネットを何に使っていますか（3つ以内で選択）

◆ 上位5位

順位	小学6年生	%	中学3年生	%
第1位	動画の視聴（YouTube等）	78.4	ラインやツイッター等のSNS	90.5
第2位	ゲーム	75.9	動画の視聴（YouTube等）	90.0
第3位	写真・動画の撮影	51.3	ゲーム	73.5
第4位	情報の検索	48.7	音楽の視聴	73.0
第5位	ラインやツイッター等のSNS	47.7	写真・動画の撮影	64.9

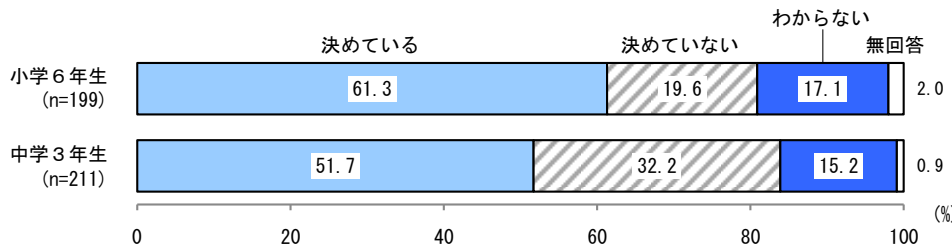
小学生は、「動画を見る（YouTubeなど）」(78.4%)が、中学生では、「ラインやツイッター等のSNS」(90.5%)がそれぞれ最も多くなっています。

■ 勉強の利用以外で、平日に平均してどれくらいの時間、インターネットを使いますか



小学生では、「1時間以上2時間未満」(31.7%)が、中学生は、「3時間以上」(46.9%)が最も多くなっています。

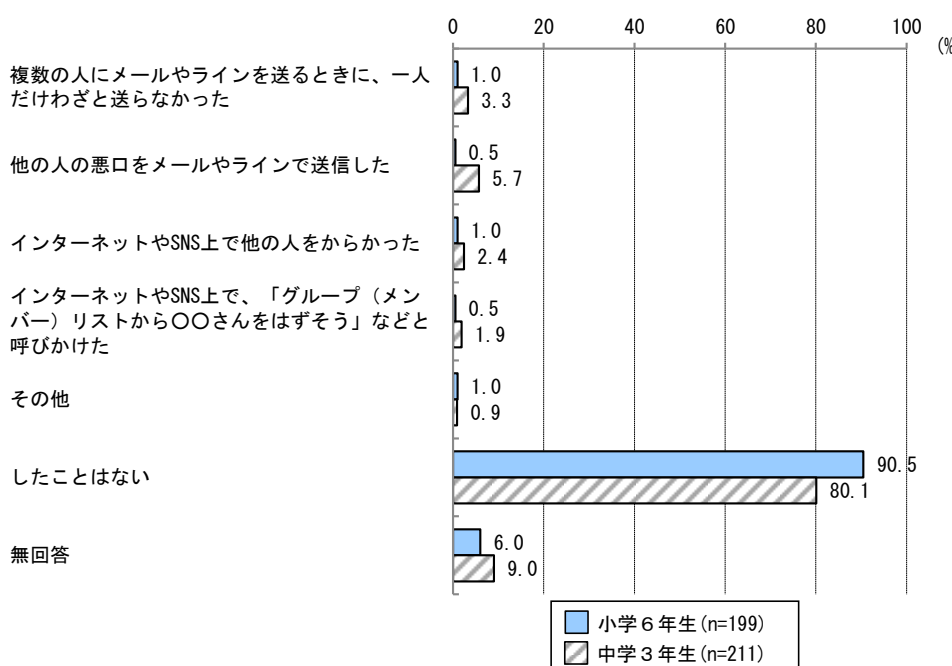
■ 携帯電話・スマートフォン・インターネット接続機器を使用する上で、家族と約束事やルールを決めていますか



「決めている」割合は、小学生が61.3%、中学生が51.7%で、小学生の割合が高くなっています。

■ インターネットを使って、次のようなことをしたことがありますか

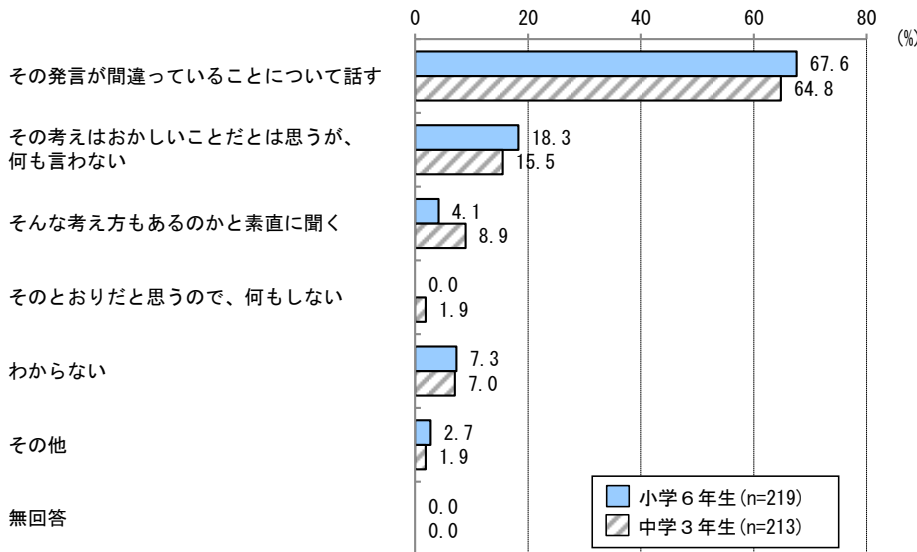
(いくつでも選択可)



・小中学生とも「したことがない」との回答が大部分を占めています。
 ・した内容をみると、小学生は「たくさんの人にメールやラインを送るときに、一人だけわざと送らなかった」や「インターネットやSNS上で他の人をからかった」、中学生は「他の人の悪口をメールやラインで送信した」や「複数の人にメールやラインを送るときに、一人だけわざと送らなかった」などです。

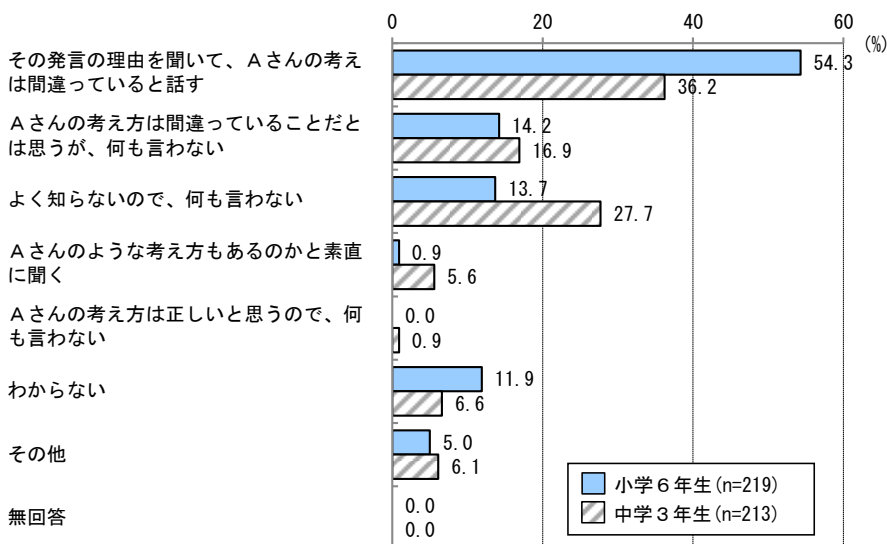
4 児童・生徒の人権意識

■家事（炊事・洗濯・掃除）は女の人がするものと言われました。その時どうしますか



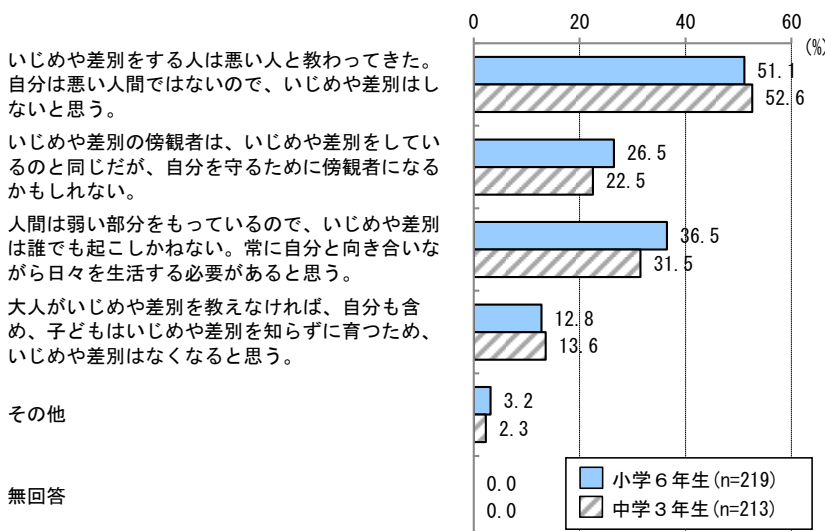
小中学生とも、「その発言が間違っていることについて話す」が最も多くなっています。これに次いで「その考えはおかしいことだとは思いますが、何も言わない」が小中学生とも続いています。

■Aさんから、「〇〇町に住んでいる人とは関わらない方がいいよ。」と言われました。その時あなたはどうしますか



小中学生とも、「その発言の理由を聞いて、Aさんの考えはまちがっていると話す」が最も多く、中学生(36.2%)に比べ小学生(54.3%)の割合のほうが高くなっています。「よく知らないので、何も言わない」は、小学生(13.7%)に比べ中学生(27.7%)の割合が高くなっています。

■あなた自身は、今後、いじめや差別をする可能性があると思いますか
(いくつでも選択可)

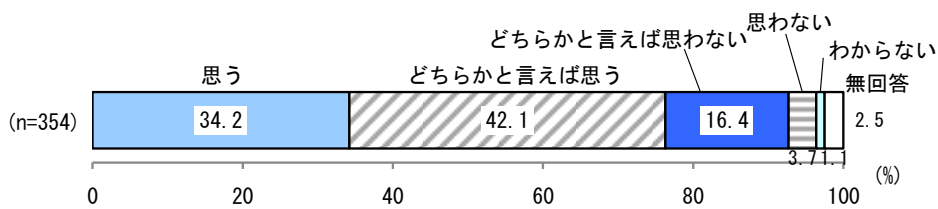


小中学生とも最も多い意見は、「いじめや差別をする人は悪い人と教わってきた。自分は悪い人間ではないので、いじめや差別はしないと思う」で、次いで「人間は弱い部分をもっているので、いじめや差別は誰でも起こしかねない。常に自分と向き合いながら日々を生活する必要があると思う」となっています。

4 小学生・中学生の保護者調査の結果

1 ふだんの子どもの関わり状況

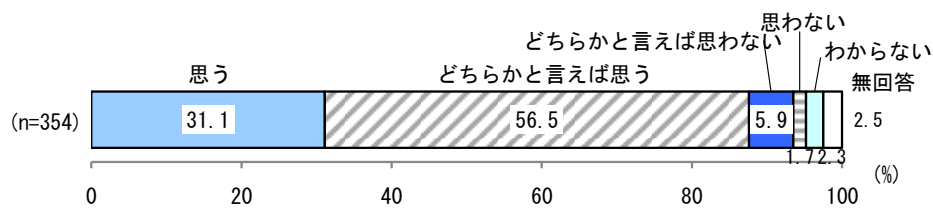
■ お子さんは学校生活の様子を家庭でよく話していると思いますか



『よく話していると思う』の割合が 76.3%* を占めています。

* 「思う」と「どちらかと言えば思う」の各割合の合計

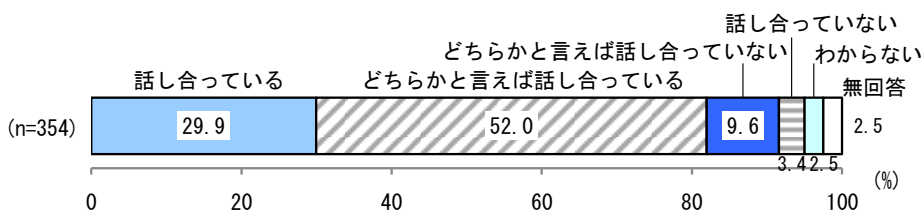
■ お子さんの考えや話しをよく聴くように心がけていると思いますか



『よく聴くよう心がけていると思う』の割合が 87.6%* を占めています。

* 「思う」と「どちらかと言えば思う」の各割合の合計

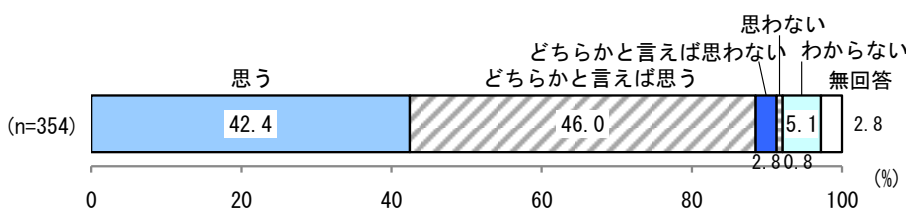
■ お子さんの生き方や将来について、家庭で話し合っていますか



『話し合っている』の割合が 81.9%* を占めています。

* 「話し合っている」と「どちらかと言えば話し合っている」の各割合の合計

■ お子さんのよさや努力（がんばり）、可能性を大切にしていると思いますか

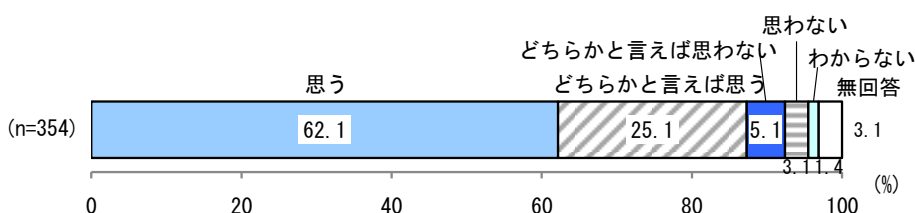


『大切にしていると思う』の割合が 88.4%* を占めています。

* 「思う」と「どちらかと言えば思う」の各割合の合計

2 ふだんの学校との関わり状況①

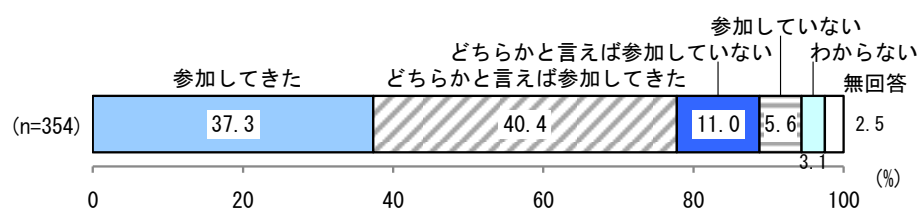
■ 今日まで授業参観や運動会などの学校行事には積極的に参加してきたと思いますか



『参加してきたと思う』の割合が 87.2%* を占めています。

* 「思う」と「どちらかと言えば思う」の各割合の合計

■ P T A 活動に積極的に参加してきたと思いますか

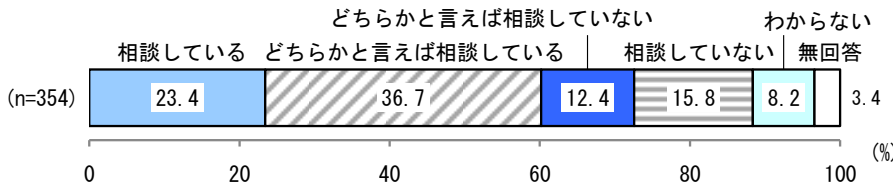


『参加してきた』の割合が 77.7%* を占めています。

* 「参加してきた」と「どちらかと言えば参加してきた」の各割合の合計

2 ふだんの学校との関わり状況②

■お子さんのことで家庭や地域で問題が起こったとき、まず、学校に相談していますか

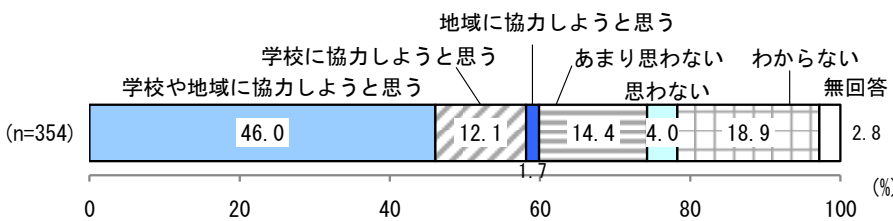


『相談している』の割合が60.1%*1で、回答者の約3分の1である28.2%*2は『相談していない』と回答しています。

*1「相談している」と「どちらかと言えば相談している」の各割合の合計

*2「相談していない」と「どちらかと言えば相談していない」の各割合の合計

■子どもの教育（学校・地域での学習支援及びボランティア等）に関する要請があれば、学校・地域に協力しようと思っていますか

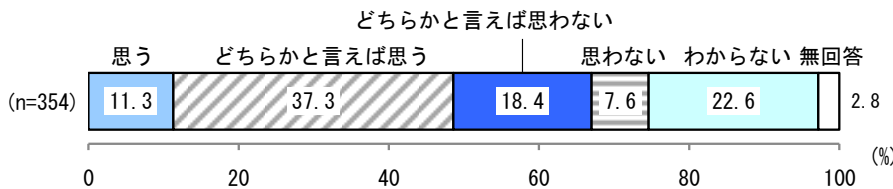


『協力しようと思う』の割合が59.8%*となっっています。

*「学校や地域に協力しようと思う」「学校に協力しようと思う」「地域に協力しようと思う」の各割合の合計

3 学校の取組みに対する評価

■学校・学級は人権学習の取組内容等について、家庭に分かりやすく伝えていると思いますか

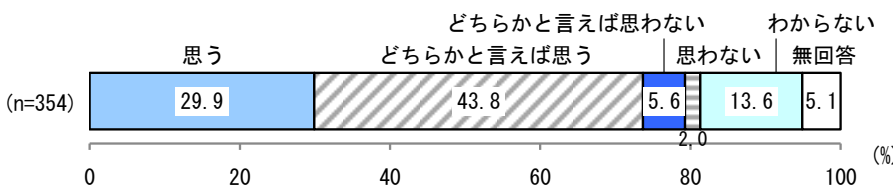


『分かりやすく伝えていると思う』の割合が48.6%*1に対し、『分かりやすく伝えていないと思わない』が26.0%*2となっています。

*1「思う」と「どちらかと言えば思う」の各割合の合計

*2「思わない」と「どちらかと言えば思わない」の各割合の合計

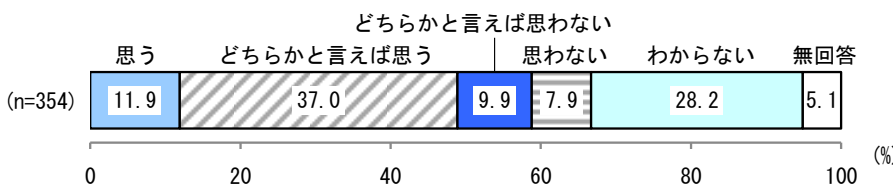
■学校（教職員）は、お子さんのよさを大切にしていると思いますか



『大切にしていると思う』の割合が73.7%*を占めています。

*「思う」と「どちらかと言えば思う」の各割合の合計

■学校は、いじめを許さない学校・学級づくりに前向きに取り組んでいると思いますか

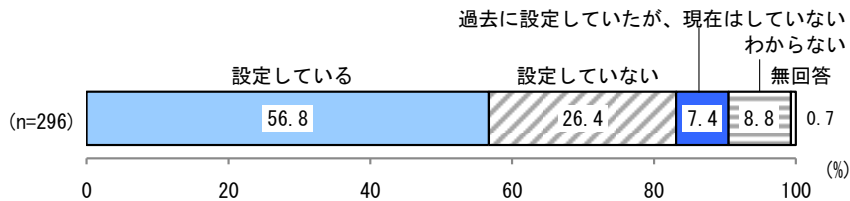


『取り組んでいると思う』の割合が48.9%*で、「わからない」が28.2%となっています。

*「思う」と「どちらかと言えば思う」の各割合の合計

4 子どものインターネットの使用状況

■ (子どもが使用している)「携帯電話(スマートフォン)」「タブレット機器(iPad等)」には現在、フィルタリング[有害サイトアクセス制限サービス]を設定していますか



フィルタリングを「設定している」との回答が 56.8% となっている一方、『設定していない』の割合が 33.8%* となっています。

* 「設定していない」と「過去に設定していたが、現在はしていない」の各割合の合計

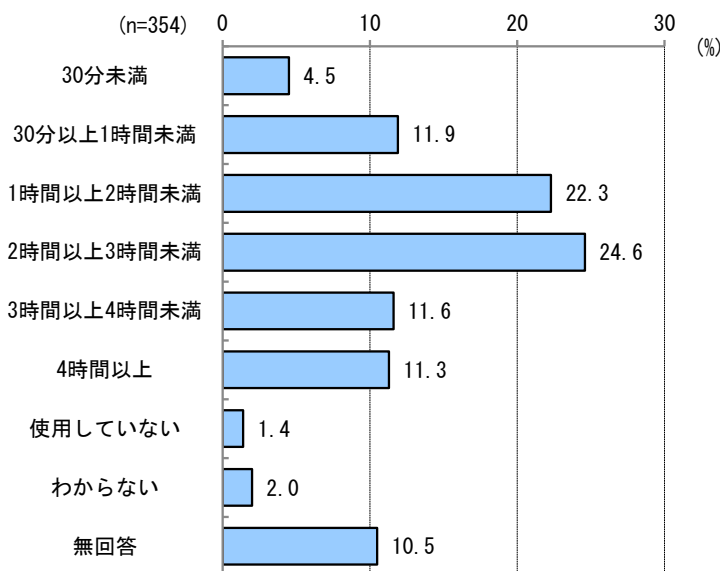
■ お子さんはインターネットをどのように使用していますか (3つ以内で選択)

◆ 上位 6 位

順位	使用目的	%
第 1 位	動画の視聴 (YouTube など)	80.8
第 2 位	ラインやツイッターなどの SNS	64.7
第 3 位	ゲーム	61.3
第 4 位	写真・動画の撮影	30.8
第 5 位	情報の検索	29.1
第 6 位	音楽の視聴	26.6

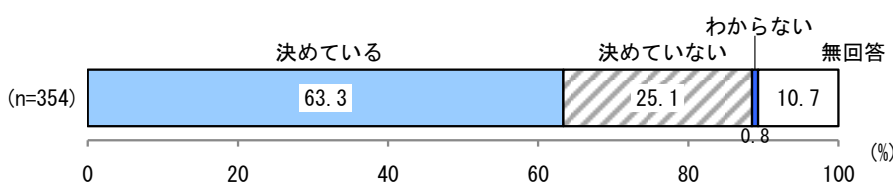
「動画の視聴 (YouTube など)」(80.8%) が最も多く、次いで「ラインやツイッターなどの SNS」(64.7%)、「ゲーム」(61.3%) となっています。14 ページの子どもの回答 (利用目的) と一致しています。

■ お子さんは平日 (土日を除いて) に平均してどれくらいの時間、インターネットを使用していますか [ゲーム、メール、動画など]



「2 時間以上 3 時間未満」(24.6%) が最も多く、次いで「1 時間以上 2 時間未満」(22.3%) となっています。1 時間～3 時間未満程度 (46.9%) が平均の使用時間となっています。

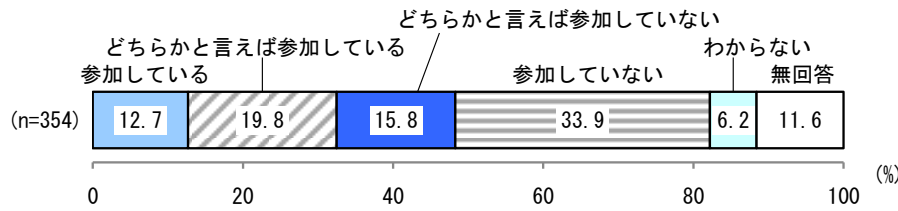
■ 携帯電話・スマートフォン、インターネット接続機器を使用する上で、お子さんとの約束事やルールを決めていますか



「決めている」が 63.3% に対し、「決めていない」が 25.1% で、約束事やルールを決めている家庭が多くなっています。

5 保護者の人権教育・啓発との関わり状況

■人権をテーマにした参観日など、学校とPTAが連携して行う人権教育に関する研修会等に参加していますか

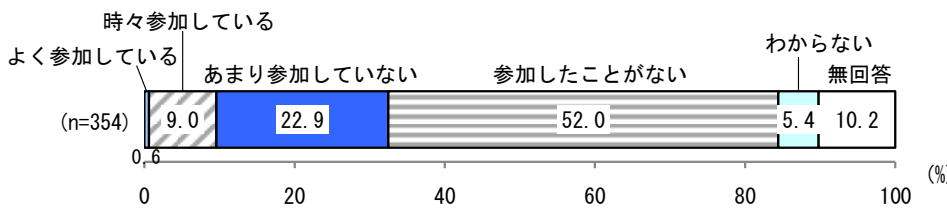


『参加している』割合は32.5%*1に対し、『参加していない』割合が49.7%*2で、参加していない保護者のほうが多くなっています。

*1「参加している」と「どちらかと言えば参加している」の各割合の合計

*2「参加していない」と「どちらかと言えば参加していない」の各割合の合計

■県や町が主催する人権啓発事業や研修に参加していますか



『参加している』割合は9.6%*1に対し、『参加したことがない』割合が74.9%*2で、参加経験のない保護者が多くなっています。

*1「よく参加している」と「時々参加している」の各割合の合計

*2「参加したことがない」と「あまり参加していない」の各割合の合計

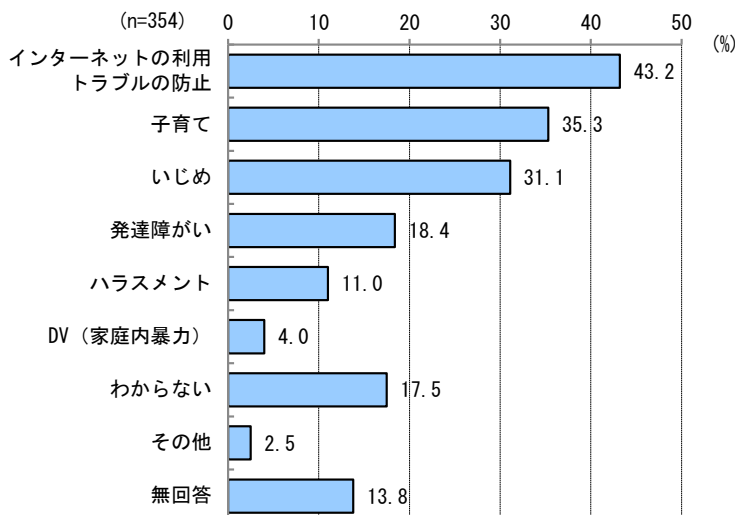
■参加してよかったと感じた研修会や人権啓発事業の内容（3つ以内で選択）

◆上位5位

順位	学校とPTAが連携して行う人権教育	%	県や町が主催する人権啓発事業	%
第1位	講師による講演	46.1	講師による講演	64.7
第2位	人権コンサート	32.2	映画や劇	29.4
第3位	映画や劇	19.1	人権コンサート	20.6
第4位	児童生徒による意見発表	9.6	人権落語	2.9
第5位	学校の人権教育の取り組み発表	6.1	児童生徒による意見発表	2.9

学校とPTAが連携して行う人権教育、県や町が主催する人権啓発事業とも、「講師による講演」が第1位となっています。

■人権教育・啓発に関する研修会や学習会のテーマとして関心のある内容や、参加してみたいと思われる内容（3つ以内で選択）

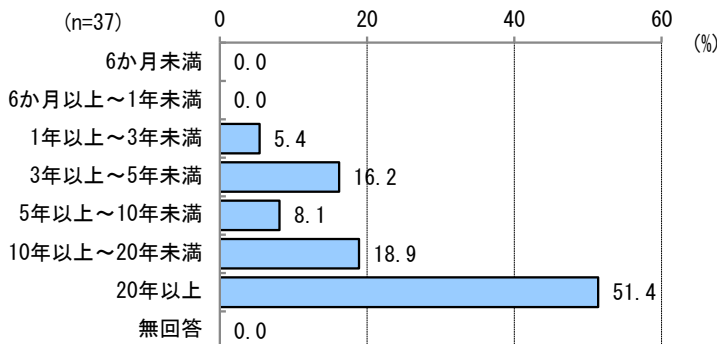


「インターネットの利用トラブルの防止」（43.2%）が最も多く、次いで「子育て」（35.3%）、「いじめ」（31.1%）となっています。

5 外国籍住民調査の結果

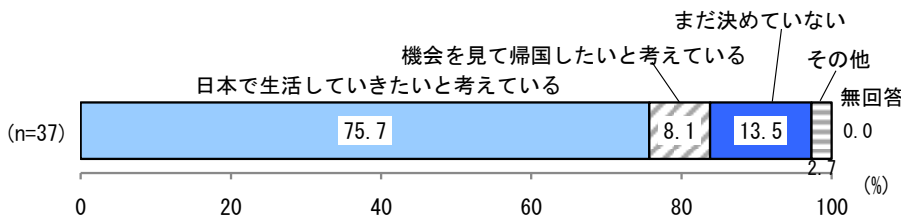
1 日本での居住年数と今後の日本での在住予定

■ あなたの日本での居住年数を教えてください



「20年以上」(51.4%)が最も多く、次いで「10年以上～20年未満」(18.9%)となっており、10年以上居住する外国籍住民が7割を占めています。

■ あなたの家族は、今後日本社会で生活していこうと考えていますか

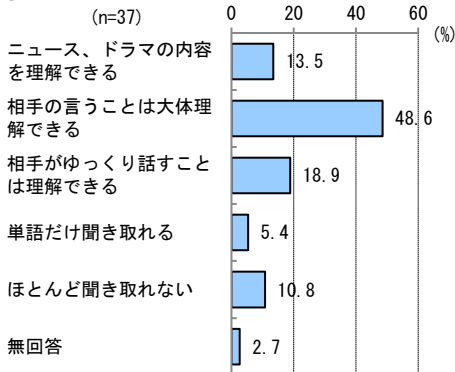


「日本で生活していきたいと考えている」が75.7%に対し、「機会を見て帰国したいと考えている」が8.1%、「まだ決めていない」が13.5%となっています。

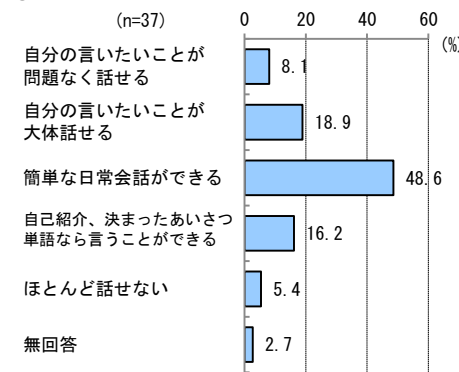
2 日本語の習得状況

■ 日本語の習得状況を教えてください

① 聞く

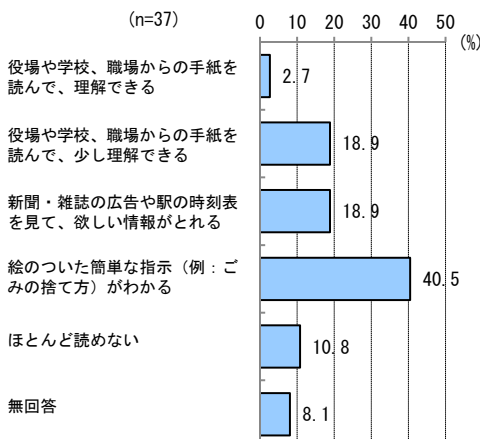


② 話す

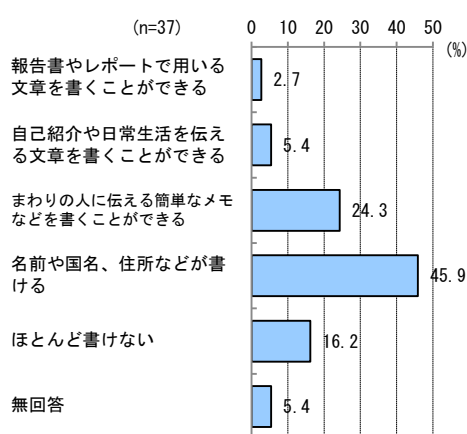


・「聞く」ことは、「相手の言うことは大体理解できる」(48.6%)がほぼ半数となっています。
・「話す」ことは、「簡単な日常会話ができる」(48.6%)がほぼ半数となっています。

③ 読む



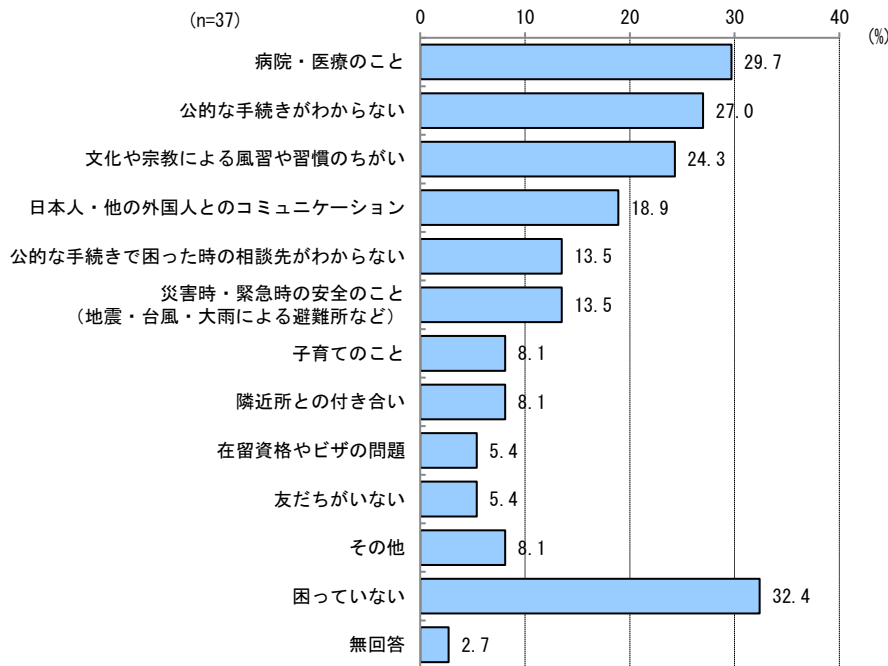
④ 書く



・「読む」ことは、「絵のついた簡単な指示がわかる」(40.5%)が最も多くなっています。
・「書く」ことは、「名前や国名、住所などが書ける」(45.9%)が最も多くなっています。

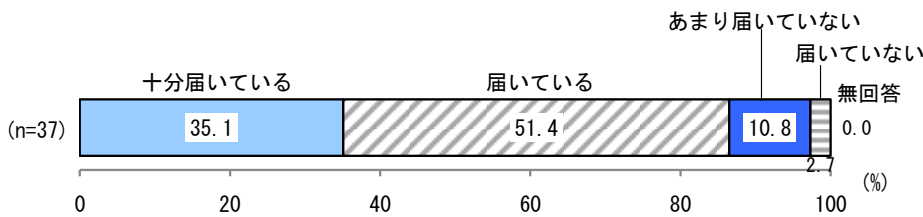
3 愛荘町での暮らしの状況①

■生活の中で不便を感じていることや困っていることは何ですか
(いくつでも選択可)



「困っていない」が32.4%と最も多くなっています。具体的な困りごとは、「病院・医療のこと」(29.7%)や「公的な手続きがわからない」(27.0%)などが多くなっています。

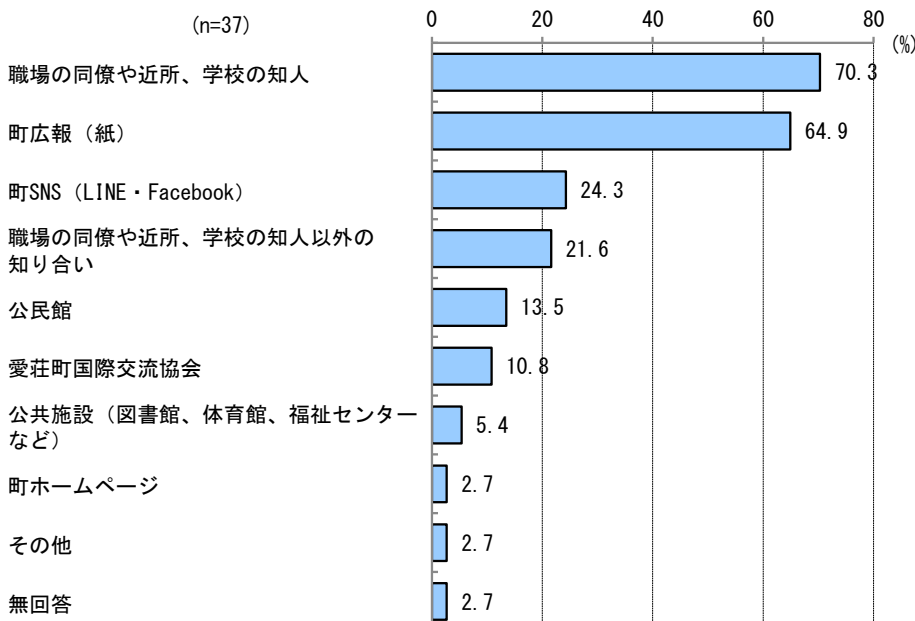
■あなたに必要な情報は届いていますか



『届いている』の割合は86.5%*で、そのうち「十分届いている」が35.1%となっています。

*「十分届いている」と「届いている」の各割合の合計

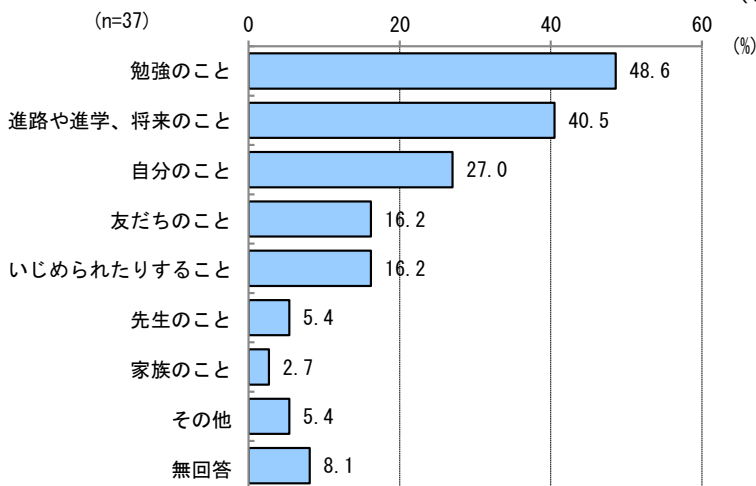
■あなたの、ふだんの情報入手先はどこからですか (いくつでも選択可)



「職場の同僚や近所、学校の知人」(70.3%)が最も多く、次いで「町広報(紙)」(64.9%)、「町SNS (LINE・Facebook)」(24.3%)などとなっています。

3 愛荘町での暮らしの状況②

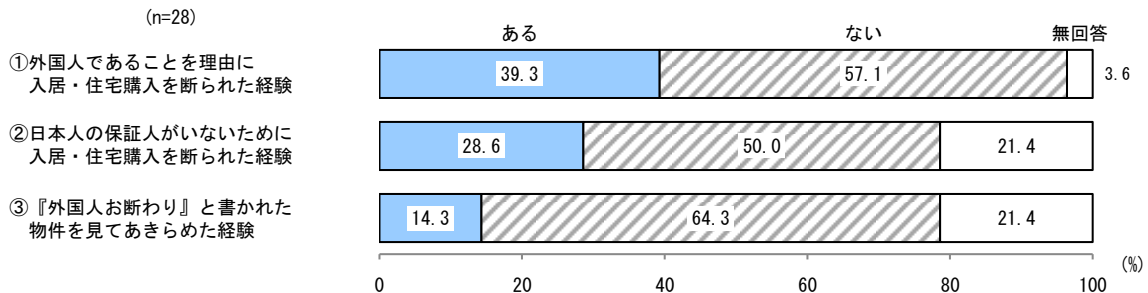
■お子さんが学校生活で困っていることはどのようなことですか
(いくつでも選択可)



「勉強のこと」(48.6%)
が最も多く、次いで「進路や
進学、将来のこと」(40.5%)、
「自分のこと」(27.0%)な
どとなっています。

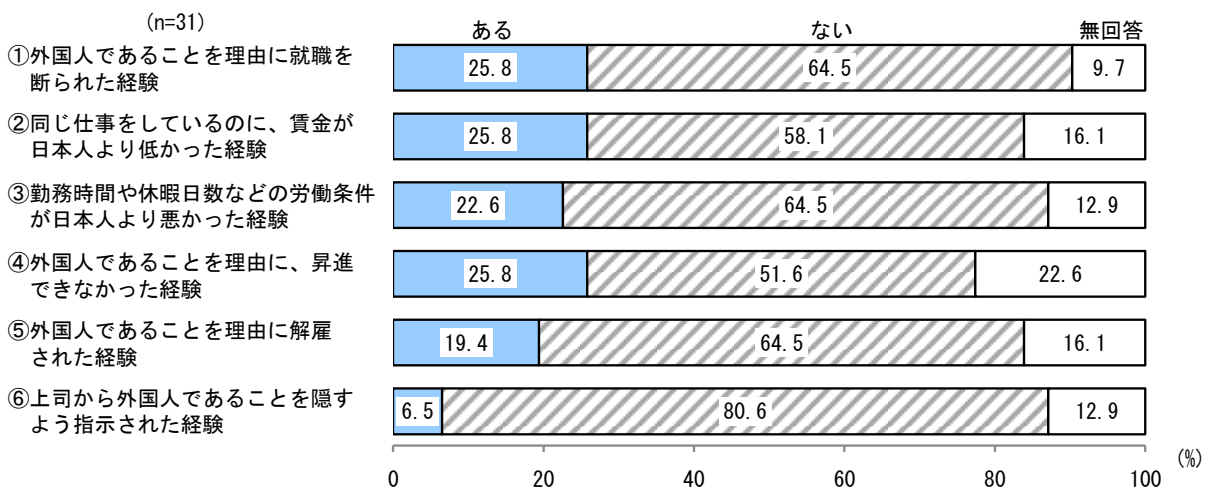
4 日本社会（愛荘町）での差別や偏見の状況①

■日本（愛荘町）で住む家を探しているときに、次のような経験をしたことがありますか



「外国人であることを理由に入居または住宅の購入を断られた経験」がある外国人の割合が39.3%で最も高くなっています。

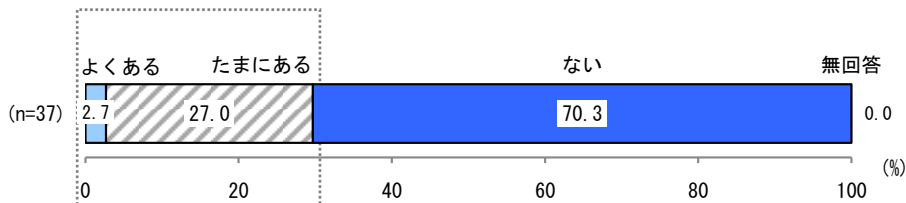
■日本で、仕事を探したり、働いたりしたときに、次のような経験をしたことがありますか



「①外国人であることを理由に就職を断られた」「②同じ仕事をしているのに、賃金が日本人より低かった」「③勤務時間や休暇日数などの労働条件が日本人より悪かった」「④外国人であることを理由に、昇進できなかった」「⑤外国人であることを理由に解雇された」は、4～5人に1人が経験があると回答しています。

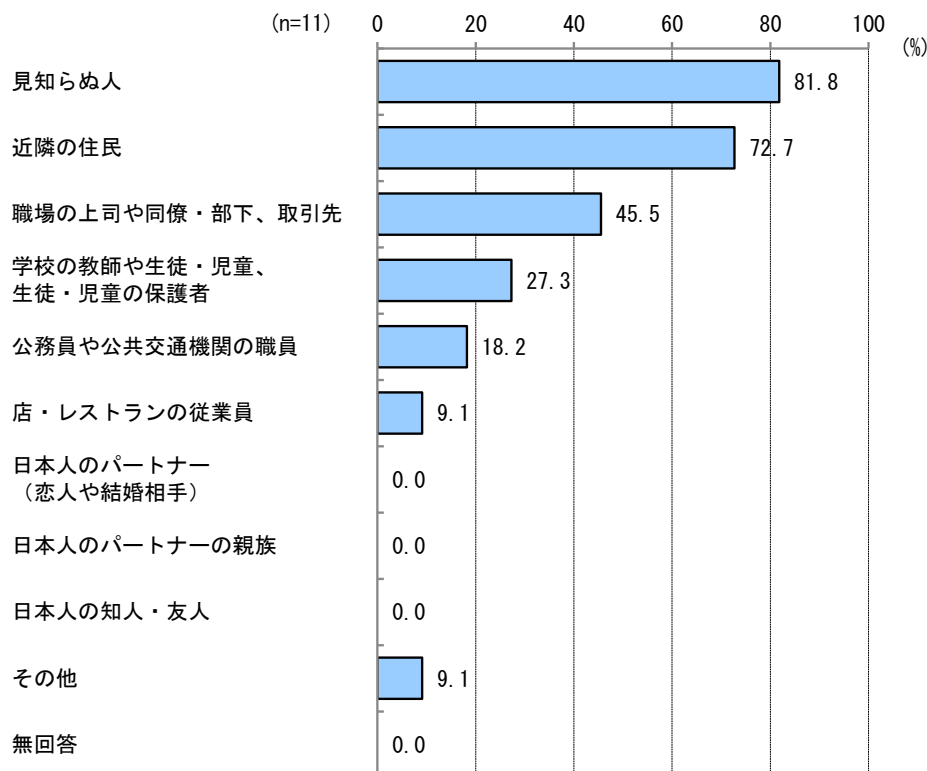
4 日本社会（愛荘町）での差別や偏見の状況②

■あなたは日本で、外国人であることを理由に侮辱されるなど差別的なことを直接言われたことがありますか



言われたことが「ない」が70.3%で最も多くなっています。「よくある」が2.7%、「たまにある」が27.0%と、差別的なことを直接言われたことがある外国人は約3割（29.7%）となっています。

■差別的なことは誰から言われましたか（いくつでも選択可）



「見知らぬ人」が81.8%で最も多く、次いで「近隣の住民」（72.7%）、「職場の上司や同僚・部下、取引先」（45.5%）となっています。

令和4年度人権に関する町民意識調査報告書 概要版

発行日 令和5年3月発行
 編集・発行 愛荘町・愛荘町教育委員会
 愛荘町人権教育推進協議会
 事務局 滋賀県愛知郡愛荘町安孫子 825
 愛荘町教育委員会 生涯学習課
 TEL 0749-37-8055